

委託事業実施内容報告書

平成24年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム（B）】

受託団体名 公益社団法人 国際日本語普及協会

1. 事業名称 地域との協働で「生活日本語」を E ラーニングで学習する自律学習支援体制づくり

2. 事業の目的

地域在住の外国人と多文化共生社会への実現に向けてともに進んでいくためには、外国人の方々がその能力を生かし、安定した生活の基盤の上に生き生きと生活できることが前提となる。そのためには外国人の生活の質を上げる、仕事に結びつく日本語力の向上が不可欠だ。

しかしながら、そうした日本語を学びたくても、毎日の生活や労働に追われ、十分な時間を取れないまま、高齢化していく外国人は多い。授業料や通学に係る交通費などの負担も大きく、学習意欲を削ぐ原因になっている。

そこで、地域在住外国人がだれでもいつでもどこでも、日本語や、日本文化、日本で働くための就労につながる日本語が無料で受けられる制度や体制作りが急務となる。外国人がやさしい日本語で学習ができる、わかりやすい E ラーニングシステムを作ることによって、仕事や育児などで忙しい外国人や遠隔地に住む外国人に学習の機会を広げ、成果を得てもらうことは、外国人の社会参加を促進し、多文化共生社会の実現に資すると考える。

日本は今後、ますます少子高齢化が進み労働人口が減少するという深刻な事態を迎える。日本の発展のためにも、外国人の人材活用及び外国人が住みやすい多文化共生の社会基盤づくりは急務ではあるが、そのための学習支援体制として E ラーニングによる生活日本語教育システムを構築する。その後、E ラーニングシステムを地域の支援者の協力を得て各地で普及する。外国人と地域支援者が E ラーニングのノウハウを共に学ぶ機会を創設することによって、情報弱者となりがちな地域在住外国人の IT リテラシーを高め、同時に地域支援者への有益な教材提供、地域日本語支援の質的向上にも貢献する。

3. 事業内容の概要

学校に通うには時間的にも経済的にも余裕のない生活者としての外国人が、気軽にインターネットを通して日本語の学習ができるように、生活日本語に焦点を当てた内容の E ラーニングシステム（自律学習支援型）を構築する。このシステムは日本語力が十分でない外国人にもわかりやすく、バージョンアップされていない安価な PC 使用者でも使いやすいものとする。役所の手続き、就職関係の書類、資格試験対策等、多くの外国人の逼迫した日本語習得のニーズに叶うものを選び、一人でも、楽しくわかりやすく、かつ効果的に学べるシステムを工夫する。

各取組の概要

- 1) PC の日本語入力、履歴書の書き方を自律的に学習する E ラーニングシステムを構築する。
- 2) 定住外国人への支援を行っている団体との連携により、希望者に定期的に通える教室（スクーリン

グ)を用意する。スクーリングでは、外国人同士および支援者が顔を合わせ、実際に E ラーニングシステムを使用し、困難点を解決する。従来の教室型学習の範囲を超えた地域に開かれた活動を実施する。講師はスクーリングで得た経験を今後の教材開発、指導方法の改善に繋げる。

3) 全国の支援者とのネットワークを通し、各地の学習者へのモニタリングを行い、取組 2 との成果とも合わせ、E ラーニングシステムの改善に反映させる。

4. 運営委員会の開催

添付資料 a : a-1 第一回運営委員会議事録

a-2 第二回運営委員会議事録

回数	開催日時	時間数	場所	出席者	検討内容
1	平成 24 年 9 月 11 日 13 : 30 ~ 15 : 30	2 時間	協会 事務 所	宮崎茂子・内藤真知子・ 戸田佐和・樋口博・新野佳子 水野晴美・関口明子 清水康雄・伊藤寛了 森田康敬	1) 主催者挨拶 2) 事業概要 3) 実施計画 4) 意見交換
2	平成 25 年 3 月 19 日 17 : 30 ~ 19 : 30	2 時間	協会 事務 所	宮崎茂子・内藤真知子・ 戸田佐和・樋口博・新野佳子 水野晴美・関口明子 清水康雄・伊藤寛了 森田康敬	1) 主催者挨拶 2) 各取組み コーディネータ 事業報告 3) アンケート調査の結果 4) 今後の取組みについて 5) 意見交換



運営委員会風景



「生活者としての外国人」のための日本語教育事業地域日本語教育実践プログラム
—地域との協働で「生活日本語」をEラーニングで学習する自律学習支援体制づくり—

第一回 運営委員会議事録

日 時：平成24年9月11日（火）13:30-15:30 於 AJALT

出席者：伊藤寛了（公益財団法人アジア福祉教育財団難民事業本部）

森田康敬（公益財団法人新宿未来創造財団）

清水康雄（株式会社 レッスン）

（以下、公益社団法人国際日本語普及協会

宮崎茂子（理事長）・内藤真知子（専務理事）・戸田佐和（常務理事）

関口明子（理事 地域日本語教育担当）

樋口博（日本語授業部）・新野佳子（研修事業部）・水野晴美（出版事業部）

1. 主催者挨拶

AJALT 理事長より、この度の「生活者としての外国人」のための日本語教育事業地域日本語教育実践プログラム（B）申請の経緯と主旨を簡単に述べ、挨拶。

2. 委員各位自己紹介

本運営委員会のメンバー一覧をご参照いただき、外部からご出席のみなさまには、簡単に自己紹介いただいた。当協会メンバーは氏名紹介。

- ・伊藤寛了氏（公益財団法人アジア福祉教育財団難民事業本部）：

これまでにトルコ語のEラーニング教材の作成に携わった経験があり、今回のプログラムにも大変関心がある。

- ・森田康敬（公益財団法人新宿未来創造財団）：

区の日本語教室や外国人支援事業に携わっており、今回の新しい企画に関心があり、いろいろ学びたい。

- ・清水康雄氏（株式会社 レッスン）

企業塾の受講を経て、Eラーニング開発に携わるようになった。板橋区と提携して、「輝く女性の学びサイト」を運営している。その経験と技術をもとに、今回のEラーニング製作に携わっていきたい。

3. AJALT より本プログラムの概要および実施計画を説明

- 1) 「地域との協働で『生活日本語』をEラーニングで学習する自律学習支援体制づくり」について、背景・主旨・目的を説明。

- 2) 実施計画について、下記の3つの取組について詳細を説明（別添資料のとおり）

【取組1】生活日本語Eラーニングシステムの構築

【取組2】上記Eラーニングシステムを使用したスクーリングの実施

【取組3】上記Eラーニングシステムの地域日本語教室を通したモニター使用およびアンケート調査によるフィードバック、事業報告書の作成

4. 意見交換

1) E ラーニング教材の実際と可能性（デモンストレーション）

清水氏より、「輝く女性の学びサイト」より、数点をサンプルとし、AJALT 試作予定の教材について、どのようなコンテンツが相応しく、効果的か、Eラーニングの実際について、ご紹介いただいた。

2) 地域在住外国人の日本語学習の状況と E ラーニングに対するニーズ

3) 本プログラムの上記実施計画に対するご意見、アドバイス

4) 地域在住外国人の就職状況

- ・外国人の就職活動（職種など） ・学歴・職歴等 ・免許・資格等
- ・自己PR・志望動機の述べ方 他

5) その他

上記 2) 3) 4) 5) について、地域在住外国人の現状について、AJALT から質問するかたちで、森田氏、伊藤氏にご意見をいただいた。

- ・PC については、かなり普及している様子で、母国の友人、家族とのメールによるやり取りもしばしば行われている。日本語入力については、文字、表記、日本語の音の理解などのさまざまな問題もあり、改めて支援する必要があるかと思う。
- ・E ラーニング教材は、日本語教室の外でも自学自習できる点で、大変よいことだと思うが、外国人がひとりで学ぶことには、やはり限界があると予想されるので、支援者の存在が不可欠となるだろう。
- ・地域のボランティア支援の対象となる外国人の職種、学歴・職歴、免許・資格等については、個人情報厳しくなっていることもあり、日本語教室でも踏み込んで聞けないのが現状。しかし、自然な話の流れのなかで、職種としては、あまり、日本語を使わなくてもできる仕事や、ベルトコンベアー的な作業などが多い実情はうかがえる。清掃や水産加工、お弁当工場などの学習者の例はある。
- ・履歴書上、経歴については真実以外のことは述べられないが、自己PR、志望動機などについては、職種に焦点が合っていることが大切だと考える。

*新宿未来創造財団および難民事業本部に、Eラーニング教材の試作品の完成後、AJALT で実施予定のスクーリングの学習者募集へのご協力をお願いした。

なお、新宿未来創造財団には、日本語教室の学習者によるEラーニング教材のモニタリングおよびアンケート調査へのご協力も依頼した。森田氏からは、教室の学習者がモニタリングを行う際、支援者の担当範囲を明確にしておきたいという申し出もいただいた。

5. まとめ

* 次回運営委員会は、Eラーニング教材が完成する12月を予定した。

「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
—地域日本語教育実践プログラム E ラーニング教材(案)

1. 完成予定 2012 年 12 月上旬

2. 教材の趣旨

地域在住外国人の生活の質の向上にはさまざまな面があるが、今回は、就職する、また、職業上のステップアップをはかる外国人の助けとなるように、履歴書の書き方～面接までの就職活動に必要な日本語を支援。

[参照] H17 文化庁委嘱「外国籍住民の日本語学習巻教及び学習支援ニーズ等に関する調査研究」(以下「調査」)

調査対象: インドシナ難民、南米日系人、日本人配偶者ほか 201 名(日本語教室通級有、無、中断など)

- ・ 通信の希望は約 6 割、学習希望内容は多様(年齢、在住期間、生活環境、人生設計等の背景による)
- ・ パソコン使用環境有が約 6 割。コンピュータ技術の習得希望は高い。
- ・ 日本語でのインターネットやメール、文書作成技術の習得希望が約 5 割。
- ・ 約 8 割が平仮名・片仮名の読み書きはできるが、漢字力は十分とまでは言えない。
- ・ 日常的な会話ができて十分ではなく、もっと勉強したい、という意欲が高い。

3. E ラーニング教材の構成(目次)

I. 導入

- 1) 本 E ラーニング教材全体の紹介(趣旨、目的、流れ)
- 2) 日本の会社について。日本での就職活動の流れ

II. 日本語 PC の基本操作

III. 履歴書の書き方 ⇒ いくつかのブロックに分け、語彙の読みと意味、記入のルール、文化的情報等を解説する。架空の人物の具体例の紹介。最終的には自分の情報の記入練習。

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1) 履歴書の趣旨、項目全体の紹介 | 6) 特技・趣味ほか |
| 2) 氏名、生年月日、現住所、連絡先ほか | 7) 志望の動機 |
| 3) 学歴・職歴 | 8) 本人希望記入欄 |
| 4) 免許・資格 | 9) 保護者(未成年の場合) |

IV. 面接

- 1) 面接の心得
- 2) 面接時の所作・礼儀
- 3) 模擬面接・質疑応答

ポイント

- ・対象となる学習者にわかる、やさしい日本語での講師の解説。⇒受講が日本語そのものの学びになる。
- ・PC 日本語入力の練習 ⇒日本語の文字そのものの学びにもつながる

参考資料

平成 17 年文化庁委嘱事業報告書「外国籍住民の日本語学習環境及び学習支援ニーズ等に関する調査研究」(平成 18 年 3 月)より

調査期間：

調査対象：回答者 201 人（地域の日本語教室に通っている人、通っていない人、以前通っていない人／インドシナ難民、南米日系人、日本人の配偶者等）

1. 多くの人は仕事、多忙な生活で、学習継続は困難
2. 滞在年数に係らず、生活に十分な日本語力が不足。学習意欲は総じて高い。
3. 総じて日本人との接触場面は多いが、さまざまな場面で困難を感じている。
4. 読み書き及びコミュニケーションのニーズは高い
5. 通信教育の希望は 6 割、学習希望内容は多様
6. 通信機器の保有には個人差がある。コンピュータ技術の取得希望は高い。
7. 日本人、日本社会への希望
8. 外国籍住民の日本語学習環境と通信教育への課題

「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
—地域日本語教育実践プログラム E ラーニング教材(案)

1. 完成予定 2012 年 12 月上旬

2. 教材の趣旨と目的

地域在住外国人の生活の質の向上にはさまざまな面があるが、今回は、仕事を得る、また、仕事のステップアップ

AJALT 事務所（指導者用 PC・プロジェクタ・スクリーン、学習者用 PC6 台使用）

3. 対象学習者

ある程度日本語力(会話力、漢字を含めた文字力)がある学習者12名程度

4. 学習者の募集

- ・新宿未来創造財団関係者(学習者)
- ・RHQ 支援センター関係者(OB)
- ・インドシナ難民子弟

5. 講師

AJALT 所属教師(指導者および補助者、毎回各1名)

6. 内容

	スクーリング	使用教材	フォローアップ
第 1 回	1. 講座の流れについて 2. 自己紹介 現在・希望の仕事(講座受講動機)等 3. 日本語 PC の基本操作 1)ローマ字入力 2)キーボードの基本操作 3)入力練習 4)メール メール作成(送信先、件名、本文) メール受信・送信	ローマ字／かな対応表 キーボード操作:動画	教師とのメールやりとり 例) 希望の仕事
第 2 回	1. イントロ(履歴書について)		

	2. 履歴書記入 第1回 氏名、連絡先、学歴・職歴、資格・免許、最寄駅 1) 記入方法 用語説明、記入例紹介 2) 履歴書記入 記入フォームで作成練習	履歴書フォーム 西暦・和暦早見表	記入した履歴書フォーム 送信(～最寄駅)・添削
第3回	1. 履歴書記入 第2回 自己PR(特技・趣味・得意科目など) 1) 記入例紹介 2) 会話、口頭練習 3) 自己PR記入 記入フォームで作成練習	履歴書フォーム	記入した履歴書フォーム 送信(～自己PR)・添削
第4回	1. 自己PR 発表→会話(→修正) 2. 履歴書記入 第3回 志望動機 1) 記入例紹介 2) 会話、口頭練習 3) 志望動機記入 記入フォームで作成練習	履歴書フォーム	記入した履歴書フォーム 送信(～志望動機)・添削
第5回	1. 志望動機 発表→会話(→修正) 2. 面接 1) 面接について 服装、所作等 2) 模擬面接 面接官－受験者: 会話ロールプレイ	動画解説	メールでアンケート送付・ 記入後返送

「生活者としての外国人」のための日本語教育事業地域日本語教育実践プログラム
—地域との協働で「生活日本語」を E ラーニングで学習する自律学習支援体制づくり—

第 2 回 運営委員会議事録

出席者：伊藤寛了（公益財団法人アジア福祉教育財団難民事業本部）

森田康敬（公益財団法人新宿未来創造財団）

清水康雄（株式会社 レッスン）

・以下公益社団法人国際日本語普及協会

宮崎茂子（理事長）・内藤真知子（専務理事）・戸田佐和（常務理事）

関口明子（理事 地域日本語教育担当）

樋口博（日本語授業部）・新野佳子（研修事業部）

水野晴美（出版事業部）

欠席者：櫻井ひろ子（かながわ難民定住援助協会 代表）

【本日の議題】

1. 主催者挨拶

本プログラムの責任者である戸田より、「運営委員のみなさまのご助言のおかげでようやく当初考えていた取組 1 から取組 3 が終わり、成果物としての E ラーニング教材が出来上がった」との報告がされた。

2. 本プログラム取組について各コーディネータから報告

取組 1 生活日本語 E ラーニングシステムの構築

— 水野

（1）取組目標

日本語 E ラーニング教材の開発を通して、地域在住外国人が、経済的物理的条件によらず、日本語を学習できるシステムを構築する土台をつくる。

（2）参加者

E ラーニング教材製作メンバーとして地域に在住、定住する外国人への指導、支援経験の豊富な日本語教師、また、出演協力者として地域在住外国人が参加した。E ラーニング製作に際し、再委託先制作会社の清水氏からさまざまなアドバイスも頂いた、

（2）取組内容

地域に在住、定住する外国人の生活、仕事、子育てなどのさまざまなニーズの中から、緊急性、必要性の高いものを検討していった結果、基本的な生活場面から一步進めて、今回は、外国人の生活の質の維持と向上を目指し、日本語教育の内容を仕事に重点を置いたテーマを選択することとした。

具体的には、履歴書記入および面接の練習、また、外国人の要望が高い日本語のパソ

コンスキル習得に、焦点を絞った。単語～文レベルの日本語入力、履歴書各項目の書き方、面接の心得・所作・質疑応答の基本の三部構成で、Eラーニング教材「仕事を探そうー履歴書の書き方から面接までー」を試作し、事業期間中、限定配信を行った。

(運営委員会ではCD版を配布)

(4) 取組目標の達成状況

- ・動画、音声、クイズ等、Eラーニングの特徴を活かして、外国人が目で見、耳で聴いて、実際にPCのキーボードを打って、より効果的に学習できる教材を作成し、改善を経て、こうしたシステムを充実させていくきっかけが作れた。

- ・今回、在住外国人にも出演を依頼したが、面接場面のシナリオづくりも、現実に質疑応答をしながら行うなど、大変有効な協力が得られた。このような外国人の参加の機会を設けることができたのも、よい成果であった。

(5) 改善点と今後の課題

- ・外国人の生活の質の向上、仕事上のステップアップという点に着目したことにより、学習者の日本語力は高めに設定し、翻訳は設けず日本語のリライトのみで解説する方針をとったが、今後は、学習者の多様なレベルに応じてこの点をさらに検討したい。

- ・今回のEラーニング教材の講師陣にとって、このような試みは初めてであったが、撮影対応、編集構成等の技術面の向上も図ることで、学習者にとってより使いやすい教材に整備していきたい。

- ・外国人の仕事をめぐる課題は、履歴書の書き方や面接の受け方にとどまらず、資格取得や専門語彙の習得、日本の社会や企業の文化理解、マナーの知識等、多岐にわたる。今後はさらなるニーズ調査を踏まえて、項目を充実させていきたい。

取組2 上記Eラーニングシステムを利用したスクーリングの実施 ― 樋口

(1) 取組目標

取組1で作成したEラーニングシステムを教材とし、直接日本語支援者のサポートを受けながら学習するスクーリングの基礎を築く。

(2) 参加者

7人(ミャンマー3人、韓国2人、フィリピン1人、パキスタン1人)

公益財団法人新宿未来創造財団、公益財団法人アジア福祉教育財団難民事業本部および地域在住の外国人支援に関わっている当協会会員を通じて案内を配布、参加者募集。

(3) 取組内容

全5回、合計10時間。パソコンの日本語入力基本操作学習(第1回)、パソコンを使って履歴書フォーム記入(第2回～第4回)、自ら作成した履歴書に基づいた就職面接の練習(第5回)。課題として講師へのメール送付(毎回)。

(4) 取組目標の達成状況

スクーリング終了後、参加者に対するアンケート調査を実施、7名の参加者の内5名から回答を得た。結果、アンケートの回収ができた全員から、Eラーニング教材およびスクーリングが「とても役にたった」、「役に立った」との回答が得られた。近い将来転職または就職を考えている3名の参加者は履歴書を完成させ、当初の目的を達成した。パソコンスキルが低い1名の参加者については、近い将来での転職は希望しておらず、履歴書完成には至らなかったが、パソコンスキルが身についたことで自らの目標は達成した。1名は、履歴書完成には至らなかったが、スクーリングが「とても役にたった」「日本語の履歴書の正しい書き方がよくわかった。」と答えていることから、本人なりの達成感が得られたものとする。

以上の結果から、就職、転職を念頭に置いた「履歴書作成」に焦点をあてた内容のEラーニングシステム（自律学習支援型）を基にスクーリングを実施する有効性について検証できたと考える。

（5） 改善点、今後の課題

今回は全5回、計10時間のスクーリングの機会を設けたが、学習者の日本語入力、希望する学習内容によっては、想定時間以上の学習時間が必要となる。今後はこの点を考慮し、学習者に合わせて余裕を持った時間設定をしたいと考える。

Eラーニングシステムを教材としたスクーリングでは、学習者にある程度のパソコンスキルが求められるが、実際には必ずしもパソコン操作に慣れていない学習者がスクーリングを希望する場合がある。その際の対応策として、次回以降は補助者の人数を増やすことを検討したい。必要な補助者が手当てできない場合は、参加人数を制限するかパソコンスキルの低い学習者には別の機会を待ってもらい対応が必要になると考える。

取組3 上記Eラーニングシステムの地域日本語教室を通したモニター使用及びアンケート調査によるフィードバック、事業報告書の作成 — 戸田

取組3

（1）取組目標

地域への限定的普及活動ならびにフィードバック

（2）

当協会が主催する教室（取組2）、全国各地の既存の日本語教室を通して、学習者、支援者に本Eラーニングシステムのモニター試用を実施する。試用に基づき、学習者支援者に本Eラーニングシステムについての聞き取り調査を行い、その結果を分析、考察する。

（3）取組み内容

アンケート調査の分析・本教材の評価・改善点の把握

（4）取組目標の達成状況

報告書の内容を口頭で発表

【概観】

今回の試用についてはその対象を上記（３）のように設定し、地域支援者に該当する学習者を募るよう協力を要請した。ただし、実際は当てはまらない学習者、つまりパソコンの操作に不慣れな学習者、漢字習得数の少ない学習者も１名回答した。回答数は予定していたものを下回ったものの、各学習者が具体的かつ示唆深い意見が寄せられ、今後のＥラーニング教材開発に有益なものとなった。

学習者の意見として、「大変役に立つ」「役に立つ」との回答が得られたということでこの教材作成は成果を上げたと言える。また、白紙の履歴書をダウンロードでき、何度も練習できる点も好評であった。

【分析】

回答には、全体的に難しいという意見が見られた。特に語彙、学歴・職歴の記述、志望動機を書く点を挙げている。これは、ひとつには学習者にとって、履歴書を作成する際に必要な日本語、特に「漢字力」、「意見をまとめる力」、その内容を「書く力」と、これまでに習得してきた「生活のための日本語」との間に乖離があることによるものである。回答から、今まで履歴書を提出してきた学習者も、多くが支援者の手助けによるものであることがわかる。この点に関しては、今回のレベル設定、特に、非漢字系学習者の場合には日本語能力のレベルを上げる必要があったことは否めない。スクーリングに参加した学習者

【日常会話にも仕事上でも日本語に不自由ない、飲食店に勤務する学習者】が受講したが、学歴や職歴を記入する・志望動機を記入する段になると相当苦勞している様子が見られ、そのことを実証している。先にも述べたとおり、非漢字圏の人たちに「漢字語彙認識力」の欠如による作成の困難さは相当なものである。この点については「母語による解説」、「語彙の翻訳」が必要であるというコメントを多くの学習者が書いている。取組２の教材作成過程での会議では、多言語翻訳は無理であるので、「できるだけわかりやすい日本語」で説明する—そのことが日本語学習になる—という結論に至ったが、非漢字系学習者にとってはやはり翻訳が不可欠であろう。

以上のことから、現在定住者が懸命に習得している「生活日本語」から、レベルの高い人たちへの生活の質を向上させるための教室における日本語授業と、本教材が使えるまでになるような難易度の低いＥラーニング教材の開発が求められていること明らかになったと言える。

支援者からのアンケート 回答結果

【概観】

学習者同様、こちらも概ね「とてもわかりやすい」「わかりやすい」という評価を得た。ただし、本教材の本来の目的である「自立的学習」の面においては、留意すべき点、改善点が複数挙げられた。これらの指摘は実際に地域で指導している支援者からのこれらの回答（指摘）は重要、かつ貴重であり、学習者からの回答とともに今後の開発への方向性を導くものである。

【分析】

まず、日本語入力のところであるが、説明の難しさを指摘している回答が少数あった。これは、入力や変換といったワード入力の基本的語彙についての指摘である。特殊語彙に慣れるまでに時間がかかるために、入力そのものよりも、聞き取りにくい点が学習の難易度を上げてしまうのであろう。課題の一つである。また、練習問題をもっと増やす要望が多く見られた。履歴書の書き方に関しては、学習者もそうであるように、支援者からも内容が「わかりにくい」「むずかしい」との回答がほぼ一割あった。その具体的な回答として、「より平易な説明がほしい」「詳しい説明を加えてほしい」という記述があった。それはやはり学習者の既習語彙では補えない新出語彙の難しさに起因するものである。回答の中には難しさを補うための策として、イラストの使用があった。また、学歴・職歴の記述、志望動機の難しさは、用例を増やすことで学習者自身が自分に合ったものを選び、記述できるのではないかという改善への案も提示された。最後の面接場面は非常にわかりやすいという評価を得た。定住外国人が実際に面接を受けている場面は学習者にとっても励みになったようだ。

最後に両者からの回答から、学習者にとっては、履歴書を作成する以前にパソコンでの十分な日本語入力練習の必要があることが浮かび上がってきた。そのハードルを超えるための日本語入力学習部分の充実である。それは、履歴書を書く力を持つ学習者だけではなく、初歩の学習者も希望することであろう。この点については、「練習問題を増やしてほしい」との記述からも需要の大きさがわかる。ただし、回答からは地域の教室ではハードの設備が十分でなく、教師自身がパソコンを持参し、学習者と使用したという回答もあり、厳しい現実も垣間見られた。

以上であるが、詳細については添付資料 f を参照されたい。

(5) 改善点、今後の課題

(4 に記載)

3. 運営委員のご意見

森田委員

外国人にとって大変役に立つものであると思う。多くの外国人定住者が生活の質の向上のために必要なものである。語彙等、難しいところもある。

(戸田より) 地域ではパソコンを設置している教室が少ないとのことであるが、新宿区も例外ではない。設置はできるが、管理が非常に難しいのが現状である。インターネットで母国の情報を得たいと思うようだが、不特定多数の使用によってウイルス侵入が起こり、パソコン自体が使用不可能になることが多い。パソコンの設置と保守は使用目的が明確であっても課題である。

伊藤委員（地域日本語支援者の立場から）

水野委員から、「地域に在住、定住する外国人の生活、仕事、子育てなどのさまざまなニーズの中から、緊急性、必要性の高いものを検討していった結果、基本的な生活場面から一歩進めて、今回は、外国人の生活の質の維持と向上を目指し、日本語教育の内容を仕事に重点を置いたテーマを選択することとした。」という報告がされたが、まさにそれに合致した教材であると思った。難しい点をどのように解決していくかが今後の課題であろう。また、パソコンでの日本語入力講習はRHQでも行っているが、学習者には非常に達成感のあるとの反応で、講習時間を増やしてほしいという要望が出ている。

清水委員（制作者の立場から）

今回の作成では、先生方が難しい撮影をよくこなして、素晴らしいものができたと思う。Eラーニング教材は種々あるが、受講者にとってもっとも学習効果があがるのは、講師が話す、しかも15分程度にスキットが区切られていることだと言われる。本教材はその2つがそろっているので、学習者も学びやすいと思う。ただ、私自身が学習者のことが十分に把握できていなかったのではないかという反省もある。

関口委員

やはり、講師はパソコンの向こうにいる学習者を考えながら話しているので、学習者に十分伝わるのではないか。

4. 意見交換

（1）改善点

各委員からは自律的な学習を可能にするために説明をさらにわかりやすくする。また、それを支えるために、翻訳について考慮する。日本語入力練習部分を広げ、十分な練習の後に履歴書を完成するという構成にする。また、要望の多い日本語入力の教材を充実するのがよいという意見が出た。

（2）今後の活動予定（水野・樋口・戸田）

機会が得られれば、アンケートに寄せられた項目、地域のニーズに沿ったEラーニング教材を

作成したいと考える。また、取組2については、平成25年度文化庁委嘱事業「生活者としての外国人」のための日本語教育事業において、生活の質向上のための支援として、同教材を使ったスクリーングを取り入れたカリキュラムにつき検討したいと考える。さらに、アンケート結果だけではなくより広く学習者のニーズも調査していきたいと考える。

5. 取組についての報告

○取組1：生活日本語を学ぶEラーニングシステムの構築

(1) 体制整備に向けた取組の目標

生活日本語 E ラーニング教材の開発を通して、地域在住外国人、経済的・物理的条件によらず、日本語を学習できるシステムを構築する土台をつくる。

(2) 取組内容

効果的で学びやすい、易しい日本語を使って学ぶ新しい E ラーニングシステムの検討。生活日本語の中で、緊急性、必要性の高いものの選択。関連する語彙や表現の選択。それらをどのような形や順番で提示していくか検討する。再委託先である E ラーニングシステム製作企業との話し合いによりイラスト・動画・音声等を検討し、E ラーニング教材のサンプルを作成する。

(3) 対象者

本 E ラーニングシステムは、日本の地域社会に在住する外国人を対象とする。

(4) 参加者の募集方法

本 E ラーニングの製作者は、当協会の会員教師のうち、地域に在住、定住する外国人への日本語指導、日本語支援経験の豊富な者から募った。

(5) 参加者の総数 9 人 (再委託先も含める場合は、12 人)

(6) 開催時間数(回数) 67 時間 (全 25 回) *のべでは 120 回

(7) 取組の具体的内容

回	開催日時	時間数	人数	参加者	取組テーマ	授業概要
1	平成24年 8月3日 18:00～20:30	2.5 時間	5 人	内藤真知子、 戸田佐和、 樋口博、 新野佳子、 水野晴美	E ラーニング教材内容の企画	・地域に在住、定住する外国人の生活、仕事、子育てなどのさまざまなニーズの中から、もっとも緊急性、必要性の高いものを検討。 ・その結果、今回は、外国人の生活の質の維持と向上を目指し、就職支援をテーマとすることに決定。
2	8月10日 18:00～20:30	2.5 時間	5 人	同上	同上	外国人の就職をめぐる日本語支援のさまざまな可能性を検討し、今回の E ラーニングでは、日本語での履歴書の書き方と、面接の受け方に焦点を絞った。
3	8月17日 18:00～20:30	2.5 時間	8 人	内藤真知子、 戸田佐和、 樋口博、 新野佳子、 水野晴美。 井上紀代、 竹歳三千子、 山本さやか	同上	日本人の就職活動の資料、外国人の就職相談にあたる相談員からの資料、地域日本語支援現場や定住難民への日本語教育現場の就職関連指導資料等を持ち寄り、E ラーニングの内容企画を開始。

4	8月24日 18:00～20:30	2.5 時間	7 人	内藤、戸田、樋口、 新野、水野、井上、 竹歳	同上	・Eラーニングの内容構成を検討し、Ⅰ. 日本語のPC入力習得 Ⅱ. 日本語での履歴書の作成、Ⅲ. 日本での日本語を用いた面接の練習、の3部構成に決定
---	----------------------	-----------	--------	------------------------------	----	--

5	9月6日 13:30～16:00	2.5 時間	8 人	内藤、戸田、樋口、 新野、水野、井上、 竹歳、山本	Eラーニング内容 構成検討	・PC入力、履歴書、面接の3項目について、外国人にとって必要な指導項目、練習内容、練習方法の大枠を検討。
6	9月7日 18:00～20:30	2.5 時間	7 人	内藤、戸田、樋口、 新野、水野、井上、 竹歳	同上	・履歴書の各項目について、外国人が記入する場合、日本人と共通の基本、日本人とは異なる留意点を洗い出し、どのような提示、解説、練習が必要で、効果的かを、具体的に検討。
7	9月10日 18:00～20:30	2.5 時間	7 人	同上	同上	・面接時の心得、所作、質問への応答について、外国人が面接を受ける際に、日本人と共通の基本、日本人とは異なる留意点を洗い出し、どのような提示、解説、練習が必要で、効果的かを、具体的に検討。
8	9月13日 10:00～12:30	2.5 時間	7 人	同上	同上	・第一回運営委員会で、地域在住外国人や定住難民の支援にあたる方々から頂いた、日本での外国人の就職状況、就労状況等の参考情報、また、Eラーニングの技術面の専門家から伺った教材作成手法を参照し、教材内容を具体化。 ・教材の課立てを決定し、作成委員で分担、シナリオ作成の詳細を決定。
9	9月14日 16:15～19:30	3.2 5時間	7 人	同上	Eラーニングシナリオ作成 および検討	・PC日本語入力の練習およびクイズのシナリオを検討、調整。 ・資料：ローマ字ーかな変換表を整える。
10	9月17日 10:30～12:30	2.5 時間	7 人	同上	同上	・履歴書（書式項目概観）のシナリオを検討、調整。
11	9月20日 10:00～12:30	2.5 時間	8 人	内藤、戸田、樋口、 新野、水野、井上、 竹歳、山本	同上	・履歴書（氏名・年齢・住所・連絡先・写真等）のシナリオを検討、調整。 ・視覚素材を準備。
12	9月21日 18:00～20:30	2.5 時間	7 人	内藤、戸田、樋口、 新野、水野、井上、 竹歳	同上	・履歴書（学歴・職歴）のシナリオを検討、調整。 ・視覚素材を準備。

13	9月24日 18:00～20:30	2.5時間	7人	同上	同上	・履歴書（免許・資格・通勤時間・配偶者）のシナリオを検討、調整。 ・視覚素材を準備。
14	9月27日 15:45～18:45	3時間	7人	同上	同上	・履歴書（特技・趣味・志望動機）のシナリオを検討、調整 ・視覚素材を準備。
15	9月28日 18:00～20:30	2.5時間	7人	同上	同上	・面接の心得、所作のシナリオを検討、調整。 ・視覚素材を準備。
16	9月29日 10:30～12:15	2.25時間	8人	内藤、戸田、樋口、 新野、水野、井上、 竹歳、山本	同上	・面接の質疑応答（模擬面接）のシナリオを検討、調整。 ・視覚素材を準備。
17	9月29日 13:30～17:30	4時間	8人	同上	Eラーニングシナリオ確認 および調整	・「はじめに」のシナリオを検討、調整。 ・シナリオ、視覚素材全体を通して確認、調整
18	10月4日 13:30～17:00	3.5時間	8人	同上	Eラーニングシナリオ最終調整および プレリハーサル	・日本語PC入力、履歴書の書き方、各課担当講師がプレリハーサルを行い、作成メンバーで確認、調整。
19	10月5日 18:00～20:30	2.5時間	7人	内藤、戸田、樋口、 新野、水野、井上、 竹歳	同上	・面接の心得、所作、質疑応答（模擬面接）、各担当講師がプレリハーサルを行い、作成メンバーで確認、調整。
20	10月8日 10:30～12:30	2.5時間	7人	内藤、戸田、樋口、 新野、水野、井上、 山本	Eラーニング撮影 前半準備	・各講師がEラーニング撮影担当者（再委託先）と詳細打ち合わせ。 ・面接部分に参加の外国人協力者との打ち合わせ
21	10月8日 13:00～15:30	2.5時間	7人	同上	Eラーニング撮影 前半リハーサル	・各講師がEラーニング撮影担当者（再委託先）のもとリハーサル、詳細調整。
22	10月8日 16:00～18:30	2.5時間	7人	同上	Eラーニング撮影	・各課の撮影、音声収録。
23	10月14日 10:00～1	2.5時間	7人	内藤、戸田、樋口、 新野、水野、竹歳、	Eラーニング撮影	・各講師がEラーニング撮影担当者（再委託先）と詳細打ち合わせ。

	2 : 3 0			山本	後半準備	・面接部分に参加の外国人協力者との打ち合わせ
24	10月14日 13:00～15:30	2.5 時間		同上	Eラーニング撮影 後半リハーサル	・各講師がEラーニング撮影担当者(再委託先)のもとリハーサル、詳細調整。
25	10月14日 16:30～20:00	2.5 時間		同上	Eラーニング撮影	・各課の撮影、音声収録。

* Eラーニング教材撮影後、編集、校正は双方協力のもとに行い、教材試作版を完成した。

添付資料 b:Eラーニングシナリオ

(8) Eラーニング撮影風景



(9) 取組の目標の達成状況・成果

前述の取組の目的、内容に沿って、Eラーニング教材試作版「仕事を探そうー履歴書の書き方から面接まで」を完成し、対象、期間を限定して配信した。本事業終了時に配信は終了したが、内容はCD版にて、本報告書に添付する。本教材を取組2のスクーリング受講者取組3の各地域モニタリング協力者と共有し、対象外国人の日本語支援を実施した。

【目次は下記のとおり】 「仕事を探そうー履歴書のか書き方から面接まで」

はじめに	導入ー全体の説明
PC日本語入力の練習1	パソコンの日本語入力の練習
クイズ1	パソコンの日本語入力の練習
PC日本語入力の練習2	小さい「や ゆ よ」の入力
クイズ2	小さい「や ゆ よ」の入力
PC日本語入力の練習3	小さい「っ」の入力
クイズ3	小さい「っ」の入力
PC日本語入力の練習4	漢字の入力
クイズ4	漢字の入力
PC日本語入力の練習5	カタカナの入力
クイズ5	カタカナの入力
PC日本語入力の練習6	アルファベットの入力
クイズ6	アルファベットの入力
PC日本語入力の練習7	文（センテンス）の入力
クイズ7	文（センテンス）の入力
履歴書の書き方1	書式項目を通してみる
履歴書の書き方2	氏名・年齢・住所・連絡先
履歴書の書き方3	写真
履歴書の書き方4	学歴・職歴
履歴書の書き方5	免許・資格
履歴書の書き方6	通勤時間・配偶者
履歴書の書き方7	特技・趣味
履歴書の書き方8	志望動機
履歴書の書き方9	本人希望記入欄
履歴書の書き方10	保護者欄（未成年者のみ）
面接1	面接の心得
面接2	所作
面接3	模擬面接

IT の特色、可能性を活かし、動画や音声等視聴覚教材の助けで、日本語 PC 入力と履歴書への記入、面接の心得、所作、質疑応答などを、実際に学べる教材を試作することができた。ある程度の基本的な生活ニーズが満たされた上で、日本社会での生活の質を向上をはかる外国人が、本教材をとおして、履歴書の書き方や面接時の日本語や所作、言葉遣い等が、自己流だったことに気づき、基礎的な必要事項を身につけることができたのはよい成果である。日本での外国人の就職には言葉の問題だけではない困難もあるが、まず、就職活動に際して、外国人が自信を持つことができ、取組 2 のスクーリングの項にあるように、本教材で学んだ外国人が実際に就職活動に成功したという結果にもつながった。

添付資料 c:CD *別送にて提出済み

(10) 改善点について

1) 後述の取組 2 のスクーリング、また、取組 3 のアンケート調査を通して、在住外国人、また地域の支援者から、本試作教材について、また、外国人の仕事や就職活動のさまざまな状況について、さまざまなコメントを得ることができた。その結果を反映して、下記のような点について、さらに教材を改善し、より多くの方々がどの地域でもいながらにして学べるように、配信の対象と期間を拡大していきたい。

- ・教材という成果上、ある程度のモデル化は必要であるが、本 E ラーニング教材の架空の性格が濃かった部分については、素材や詳細が、より現実に即したものとなるように、改善する。

- ・学習者日本語力を N3 以上に設定し、翻訳は設けず、日本語のリライトのみでしていく方針をとったが、今後は、学習者の多様なレベルに応じてこの点をさらに検討する。

- ・今回の E ラーニング教材中の講師陣にとってこのような試みが初めてであったが、撮影対応、編集構成等の技術の向上も図ることで、学習者にとってより使いやすい教材に整備していく。

2) 教材中、面接の場面では、実際の在住外国人 2 名の協力を得ることができたが、今後は、このように外国人自身が参加できる機会をさらに増やしていきたい。

○取組 2：生活日本語を学ぶ E ラーニングシステムを活用したスクーリング（教室）の実施

(1) 体制整備に向けた取組の目標

取組 1 で作成した E ラーニングシステムで日本語を独習する外国人が、必要に応じて直接日本語支援者のサポートを受け、他の学習者とも交流するためのスクーリングの基礎を築く。

(2) 取組内容

全 5 回、合計 10 時間のスクーリング（教室）を開催、取組 1 で作成した E ラーニング教材を使用し、パソコンの日本語入力基本操作の学習、パソコンを使って履歴書フォームに記入、自ら作成した履歴書に基づいて就職面接の練習を実施した。また各回、宿題として講師へのメール送付を課題とした。

(3) 対象者

地域在住の外国人

(4) 参加者の募集方法

公益財団法人新宿未来創造財団、公益財団法人アジア福祉教育財団難民事業本部および地域在住の外国人支援に関わっている当協会会員を通じて募集案内を配布し、参加者を募った。

添付資料 d：参加者募集のお知らせ

(5) 参加者の総数 7 人

(出身・国籍別内訳 ミャンマー3人、韓国2人、フィリピン1人、パキスタン1人)

(6) 開催時間数(回数) 10 時間 (全 5 回)

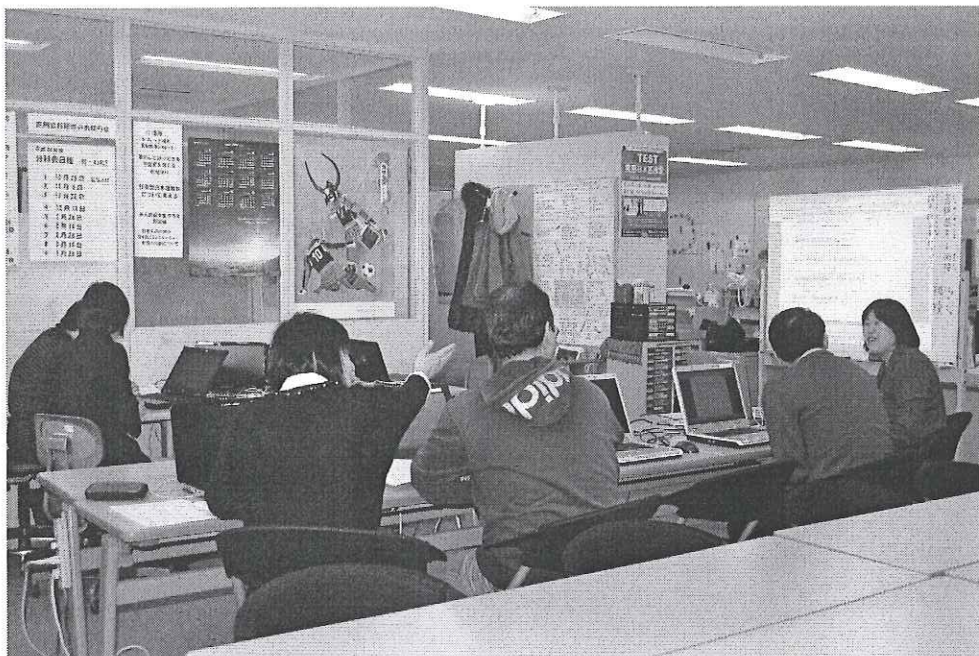
(7) 取組の具体的内容

回	開講日時	時間数	参加人数	国籍(人数)	取組テーマ	授業概要
1	平成25年1月13日 10:30～12:30	2時間	7人	ミャンマー (3人)、韓国 (2人)、フィ リピン(1 人)、パキス タン(1人)	パソコンの日本 語入力 メール作成・送 受信	日本語PCの基本操作練習(かな、漢字、文章入力)お よびメールの作成、添付書類を付けて送信、受信等の 操作練習
2	平成25年1月20日 10:30～12:30	2時間	5人	ミャンマー (2人)、韓国 (1人)、フィ リピン(1 人)、パキス タン(1人)	パソコンを使っ て履歴書作 成①	履歴書の書式項目、用語の学習後、履歴書フォームの 氏名、住所、連絡先、学歴、職歴の欄への記入
3	平成25年1月27日 10:30～12:30	2時間	6人	ミャンマー (2人)、韓国 (2人)、フィ リピン(1 人)、パキス タン(1人)	パソコンを使っ て履歴書作 成②	履歴書の書式項目、用語の学習後、履歴書フォームの 資格・免許、通勤時間・扶養家族、趣味・特技の欄へ の記入
4	平成25年2月10日 10:30～12:30	2時間	2人	ミャンマー (1人)、フィ リピン(1人)	パソコンを使っ て履歴書作 成③	履歴書の書式項目、用語の学習後、履歴書フォームの 志望動機、本人希望欄、保護者の欄への記入
5	平成25年2月17日 10:30～12:30	2時間	4人	ミャンマー (2人)、韓国 (1人)、フィ リピン(1人)	就職面接の 練習	面接に臨む心得、所作の学習後、自分で作成した履歴 書に基づいて模擬面接

(8) 特徴的な活動風景(2～3回分)

添付資料 e: ①E ラーニング授業報告(第1回～第5回)

活動風景



(9) 取組の目標の達成状況・成果

スクーリング終了後、参加者に対するアンケート調査を実施（添付資料 f-4 参照）、5名の参加者から回答を得結果、アンケートの回収ができた全員から、Eラーニング教材およびスクーリングが「とても役に立った」、「役に立った」との回答が得られ、今回実施した講座は概ね好評であった。就職面接を受ける際の基本的なマナー、スキルが身についたとのコメントが複数から得られたことから、教材を提供

するだけでなく、スクーリングの機会を設けて模擬面接を取り入れることの有効性が窺われる。

スクーリングは全5回、合計10時間で、Eラーニング教材にある内容以上のことは今回取り扱わなかったが、参加者からは、履歴書作成や就職活動に関連するテーマについて更なる学習希望が出た。可能であれば、スクーリングでは、教材学習想定時間である10時間プラス余裕の時間を設定できるとよりよかったと思われる。

参加者から出た学習希望については、「(10)改善点について」で記述する。

(10) 改善点について

今回作成したEラーニング教材、教材を基に実施したスクーリングは、概ね好評であったが、参加者からは以下のコメントが得られた。

「(基本的な面接スキルを身に着けることができたが)もっと詳しく細かいところまで勉強した。」「職務経歴書の書き方も勉強したかった。」「労働契約など法律的な事柄をやさしく教えてほしい。」以上については、スクーリングの時間数に余裕があれば、ある程度対応可能かと思われる。そのほか、「仕事の勉強はもう少し時間をのばしてほしいと思う。」とのコメントが得られた。取組3のモニタリング結果も参考に教材に改善を加え、内容の充実を図るとともに、より長時間にわたるスクーリングの機会を設け、更にきめ細かい対応を図れるよう努めたいと考える。今回、応募資格として「パソコンを使ったことがあり、自分のメールアドレスを持っている方」と項目をつけたが、実際にはパソコンをあまり扱ったことのない参加者があった。パソコンスキルが低い参加者に対しては、補助講師をボランティアで1名追加して対応した。結果として、その参加者はスクーリング実施期間中にパソコンを購入、基本操作ができるようになって楽しかったとのコメントが得られたが、講師と補助者の2名体制で別メニューの参加者に対応するには限界があると思われる。募集条件に当てはまらない希望者の受け入れ、講師人数を含めた受け入れ体制の検討は次回以降の課題と考える。

○取組3：生活日本語を学ぶEラーニングシステムの普及活動

(1) 体制整備に向けた取組の目標

地域への限定的普及活動ならびにフィードバック

(2) 取組内容

当協会が主催する教室(取組2)、全国各地の既存の日本語教室を通して、学習者、支援者に本Eラーニングシステムのモニター試用を実施する。試用に基づき、学習者支援者に本Eラーニングシステムについての聞き取り調査を行い、その結果を分析、考察する。

(3) 対象者

地域で定住外国人に日本語教育の支援を行っている方ならびに定住し、日本での就職を希望している外国人。具体的には以下の通りである。

- ① 日本の会社に就職、または転職したいと考えている18才以上の方で、下記の日本語力がある方
－会話力：日本語能力試験N3合格以上(日常会話ができる方)
－文字力：日本語能力試験N4合格以上(漢字が300字程度読める方)
- ② パソコンを使ったことがあり、自分のメールアドレスを持っている方

(4) 参加者の募集方法

当協会と連携している団体、地域支援者に協力を要請し、支援者、学習者を募った。支援者には案内

のチラシを上記の団体、支援者に送り、配布を依頼した。

添付資料 d：支援者へのお知らせ

(5) 参加者

支援者 11 人 学習者 18 人

国籍 ミャンマー、フィリピン、韓国、中国、モンゴル、パキスタン

(6) 各アンケート回答者によるが、15分から30分程度

(7) 取組の内容

添付資料 支援者並びに学習者へのアンケート実施

(8) 活動風景

写真撮影等は実施せず

(9) 取組の目標の達成状況・成果

A 学習者からのアンケート 回答結果

A-1 概観

今回の試用についてはその対象を上記(3)のように設定し、地域支援者に該当する学習者を募るよう協力を要請した。ただし、実際は当てはまらない学習者、つまりパソコンの操作に不慣れな学習者、漢字習得数の少ない学習者も1名回答した。回答数は予定していたものを下回ったものの、各学習者が具体的かつ示唆深い意見が寄せられ、今後のEラーニング教材開発に有益なものとなった。

学習者の意見として、「大変役に立つ」「役に立つ」との回答が得られたということでこの教材作成は成果を上げたと言える。また、白紙の履歴書をダウンロードでき、何度も練習できる点も好評であった。

A-2 分析

回答には、全体的に難しいという意見が見られた。特に語彙、学歴・職歴の記述、志望動機を書く点を挙げている。これは、ひとつには学習者にとって、履歴書を作成する際に必要な日本語、特に「漢字力」、「意見をまとめる力」、その内容を「書く力」と、これまでに習得してきた「生活のための日本語」との間に乖離があることによるものである。回答から、今まで履歴書を提出してきた学習者も、多くが支援者の手助けによるものであることがわかる。この点に関しては、今回のレベル設定、特に、非漢字系学習者の場合には日本語能力のレベルを上げる必要があったことは否めない。スクーリングに参加した学習者【日常会話にも仕事上でも日本語に不自由ない、飲食店に勤務する学習者】が受講したが、学歴や職歴を記入する・志望動機を記入する段になると相当苦勞している様子が見られ、そのことを実証している。先にも述べたとおり、非漢字圏の人たちに「漢字語彙認識力」の欠如による作成の困難さは相当なものである。この点については「母語による解説」、「語彙の翻訳」が必要であるというコメントを多くの学習者が書いている。取組2の教材作成過程での会議では、多言語翻訳は無理であるので、「できるだけわかりやすい日本語」で説明する—そのことが日本語学習になる—という結論に至ったが、非漢字系学習者にとってはやはり翻訳が不可欠であろう。

以上のことから、現在定住者が懸命に習得している「生活日本語」から、レベルの高い人たちへの生活の質を向上させるための教室における日本語授業と、本教材が使えるまでになるような難易度の低いEラーニング教材の開発が求められていること明らかになったと言える。

B 支援者からのアンケート 回答結果

B-1

学習者同様、こちらも概ね「とてもわかりやすい」「わかりやすい」という評価を得た。ただし、本

教材の本来の目的である「自立的学習」の面においては、留意すべき点、改善点が複数挙げられた。これらの指摘は実際に地域で指導している支援者からのこれらの回答（指摘）は重要、かつ貴重であり、学習者からの回答とともに今後の開発への方向性を導くものである。

B-2

まず、日本語入力のところであるが、説明の難しさを指摘している回答が少数あった。これは、入力や変換といったワード入力の基本的語彙についての指摘である。特殊語彙に慣れるまでに時間がかかるために、入力そのものよりも、聞き取りにくい点が学習の難易度を上げてしまうのであろう。課題の一つである。また、練習問題をもっと増やす要望が多く見られた。履歴書の書き方に関しては、学習者もそうであるように、支援者からも内容が「わかりにくい」「むずかしい」との回答がほぼ一割あった。その具体的な回答として、「より平易な説明がほしい」「詳しい説明を加えてほしい」という記述があった。それはやはり学習者の既習語彙では補えない新出語彙の難しさに起因するものである。回答の中には難しさを補うための策として、イラストの使用があった。また、学歴・職歴の記述、志望動機の難しさは、用例を増やすことで学習者自身が自分に合ったものを選び、記述できるのではないかという改善への案も提示された。最後の面接場面は非常にわかりやすいという評価を得た。定住外国人が実際に面接を受けている場面は学習者にとっても励みになったようだ。

最後に両者からの回答から、学習者にとっては、履歴書を作成する以前にパソコンでの十分な日本語入力練習の必要があることが浮かび上がってきた。そのハードルを超えるための日本語入力学習部分の充実である。それは、履歴書を書く力を持つ学習者だけではなく、初歩の学習者も希望することであろう。この点については、「練習問題を増やしてほしい」との記述からも需要の大きさがわかる。ただし、回答からは地域の教室ではハードの設備が十分でなく、教師自身がパソコンを持参し、学習者と使用したという回答もあり、厳しい現実も垣間見られた。

以上であるが、詳細については添付資料 f を参照されたい。

(10) 改善点について

自律的な学習を可能にするために説明をさらにわかりやすくする。また、それを支えるために、翻訳について考慮する。日本語入力練習部分を広げ、十分な練習の後に履歴書を完成するという構成にする。説明の速度を学習者に合わせるなどの点を検討し改善に繋げる。

6. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

日本で定住することを望み、より質の高い生活を目指している外国人にとって、就職への第一歩である履歴書の書き方・面接等の習得は大変困難であると言える。もちろん、支援者が指導する場合もあるであろうが、必ずしもそうでない状況も多くみられる。

本事業では、上記のような問題を解決するために教材作成を行い、最終的に目的に合致する教材を作成することができた。また、実際に協会教師がスクーリングを行うことで、学習者に直接対面し、その手ごたえと反省点を得た。また、各地から試用について、支援者ならびに学習者からさまざまな意見が寄せられ、今後の開発に繋がる資料が集まった。

(2) 事業目的の達成状況

取組1については、物理的経済的条件で日本語教室に通級できない外国人も多く、通

信手段による学習への要望が久しくある。こうした現状の改善を考える中から、今回のEラーニングの試みが始まった。地域の外国人にも、外国人を支援する日本人にも、学習および指導の可能性を広げるきっかけができたと考えている。

取組2については、スクーリング終了後、参加者に対するアンケート調査を実施、7名の参加者の内5名から回答を得た。結果、アンケートの回収ができた全員から、Eラーニング教材およびスクーリングが「とても役にたった」、「役に立った」との回答が得られた。近い将来転職または就職を考えている3名の参加者は履歴書を完成させ、当初の目的を達成した。パソコンスキルが低い1名の参加者については、近い将来での転職は希望しておらず、履歴書完成には至らなかったが、パソコンスキルが身についたことで自らの目標は達成した。1名は、履歴書完成には至らなかったが、スクーリングが「とても役にたった」「日本語の履歴書の正しい書き方がよくわかった。」と答えていることから、本人なりの達成感が得られたものとする。アンケートの回収ができなかった2名の内1名は、第1回参加後、目の手術を受けることになったため、第2回以降不参加となった。もう1名の参加者については、第4回、第5回欠席で履歴書完成には至らなかったが、不参加の理由は不明である。

（3）地域における事業の効果、成果

取組1については、ITの特色を活かし、動画や音声駆使して、日本語PC入力と履歴書記入、面接の心得、所作、質疑応答などを、实际的に学べる教材を作成し、今年度は限定的試用ではあったが、各地域の協力者とともに、日本語支援の新しい可能性を考えることができた。このことによって、地域の日本語教室に通級できない学習者に対しても、今後、日本語支援の機会を広げる方向性を探ることができた。

取組2においては、就職、転職を念頭に置いた「履歴書作成」に焦点をあてた内容のEラーニングシステム（自律学習支援型）を使用するスクーリングの機会を設けた。その結果、Eラーニングシステム（自律学習支援型）を構築し、システムを基にスクーリングを実施する有効性について検証できたと考える。

取組み3については地域の支援者・学習者にEラーニングの試用を依頼、教材の内容についてアンケート調査を行った。回収率がやや低かったことは否めないが、回答の質は今の開発に大いに繋がる有効性のあるものであった。

（4）改善点、今後の課題について

取組み1について

i 現状

取組1については、近年、とくにここ数年IT機器の急速な普及が進み、Eラーニングへの要望がより高まることが予測される。Eラーニングシステムは、まだ試用段階にある。過去の調査データにもとづいて試作を行ったが、改善については、これからモニタリングの結果を反映していく必要がある。

ii 今後の課題

取組1については以下の通りである

- ・仕事のステップアップという点を重視し、すでにある程度の日本語力があり、現在の仕事でも日本語を使用しているN3相当の学習者を想定したが、実際には学習者の幅は広い。今後はこの点に

配慮して、内容とレベルをさらに検討していきたい。

- ・仕事をめぐっては、履歴書の書き方や面接の受け方にとどまらず、資格取得や専門語彙の習得、日本の社会や企業の文化理解、マナーの知識等々、多岐にわたる。今後はさらに項目を充実させていきたい。
- ・Eラーニング教材の製作、編集の技術を向上させ、より使い勝手のよい教材にしていきたい。

取組2について

基本的に自律学習支援を目的としたEラーニングシステムにおいても、地域の支援者の支援の下学習を進めた方がより効果が上がる学習者、支援なしでは学習の効果が上がりにくい学習者もいるが、Eラーニング教材の作成と合わせてスクーリングが実施される機会は一般化していないのが現状であろう。今回設けたスクーリングが新たな試みになるのではないかと考える。

取組3について

今回は九州・四国・首都圏（千葉・神奈川）でアンケートを実施したが、当初考えていたよりも回答数が少なかった。依頼した支援者からは、まだまだ、履歴書を書くレベルの学習者が地域の教室には少ないという報告があった。どうしても支援者に頼り、支援者が代筆しているということだ。今回の事業に対するアンケート調査は一応成功を見たが、上記のような報告を事前に調査し、さらに広く支援者へ協力を仰ぐ必要があった。

ii 今後の課題

改善点

取組1については以下の通りである

- ・仕事のステップアップという点を重視し、すでにある程度の日本語力があり、現在の仕事でも日本語を使用しているN3相当の学習者を想定したが、実際には学習者の幅は広い。今後はこの点に配慮して、内容とレベルをさらに検討していきたい。
- ・外国人の仕事に必要な日本語の支援は、履歴書の書き方や面接の受け方にとどまらず、資格取得や専門語彙の習得、日本の社会や企業の文化理解、マナーの知識等々、多岐にわたる。今後はさらなるニーズ調査を踏まえて、項目を充実させていきたい。
- ・ITを駆使することで、動画、音声をはじめ、教材の可能性は広がる。撮影対応、製作、編集の技術を向上させ、より使い勝手のよい教材にしていきたい。

取組2については以下の通りである。

- ・今回は全5回、計10時間のスクーリングの機会を設けたが、学習者の日本語力、希望する学習内容によっては、想定時間以上の学習時間が必要となる。今後はこの点を考慮し、学習者に合わせて余裕を持った時間設定をしたいと考える。
- ・Eラーニングシステムを教材としたスクーリングでは、学習者にある程度のパソコンスキルが求められるが、実際には必ずしもパソコン操作に慣れていない学習者がスクーリングを希望する場合がある。その際の対応策として、次回以降は補助者の人数を増やすことを検討したい。必要な補助者が手当てできない場合は、参加人数を制限するかパソコンスキルの低い学習者には別の機会を待ってもらふ対応が必要になると考える。

取組3については、5に挙げたように、自律的な学習を可能にするために説明をさらにわかりやすく

する。また、それを支えるために、翻訳について考慮する。日本語入力練習部分を広げ、十分な練習の後に履歴書を完成するという構成にする。説明の速度を学習者に合わせるなどの点を検討し改善に繋げる。

iii 今後の活動予定

「生活日本語」に焦点をあてた内容のEラーニングシステム（自律学習支援型）については、現段階では就職、転職を念頭に置いた「履歴書作成」に焦点をあてた教材以外は、作成に至っていない。今回取組2実施によって得られた知見を活かし、今後も広く地域支援実践の場で利用できる様改善を加えて公開する方策を検討し、Eラーニングシステムの完成を目指していきたいと考える。

取組1については、今回の製作過程で、実際に地域に在住している外国人に出演協力を依頼したが、より現実に近い面接模擬場面や質疑応答内容を、ともに作りあげることができた。今後もこうした形でも、外国人自身がこうした事業に参加できるような機会を設けていきたいと考えている。

取組2については、平成25年度文化庁委嘱事業「生活者としての外国人」のための日本語教育事業において、生活の質向上のための支援として、同教材を使ったスクーリングを取り入れたカリキュラムにつき検討したいと考える。

取組3については、地域支援者からのヒアリング、地域定住外国人の日本語レベルの調査等を参考に、一層の日本語教育ニーズ調査を行う予定である。

その他参考資料： 添付資料 f：

- f-1 学習者のみなさまへのアンケート用紙
- f-2 支援者のみなさまへのアンケート用紙
- f-3 スクーリング参加者へのアンケート用紙
- f-4 スクーリング参加者のアンケート集計結果
- f-5 学習者へのアンケート集計結果
- f-6 支援者へのアンケート集計結果

学習者のみなさまへのアンケート

「日本の会社で働きたい人のための WEB 教材」をよりよいものにするために、アンケートにご協力ください。

いただいた回答は、上記の目的以外のために使うことはありません。

I. あなたのことを教えてください。

おとこ 男 ・ おんな 女 ねんれい 年齢 さい 歳 こくせき 国籍 _____

1. あなたのお仕事についてお聞きします。

げんざい 現在のお仕事をお書きください(詳しく書いてください)。

⇒

2. あなたは、近い将来日本で就職または転職したいと考えていますか。1つ選んでチェック(☑)してください。

☐ ①この教材で勉強する前から考えていた

☐ ②この教材で勉強して考えるようになった

☐ ③近い将来には就職、転職を考えていないが、いつかは考えたいと思っている。

☐ ④新たに就職、転職したいとは考えていない。

3. 2. で①②③と答えた方にお聞きします。

こんご 今後どのような仕事に就きたいか教えてください。

⇒

4. 普段パソコンをよく使っていますか。1つ選んでチェック(☑)してください。

☐ ①よく使っている ☐ ②時々使っている ☐ ③あまり使わない ☐ ④まったく使わない

5. 4. で①と②に☑した方にお聞きします。

パソコンで日本語入力ができますか。1つ選んでチェック(☑)してください。

☐ ①問題なくできる ☐ ②そんなに問題なくできる ☐ ③あまりできない ☐ ④まったくできない

6. パソコン^{つか}を使って日本語^{にほんご}でメールをしていますか。1つ^{えら}選んでチェック(☑)してください。

- ☐ ①よくしている ☐ ②時々^{ときどき}している ☐ ③あまりしていない ☐ ④まったくしていない

7. 今までに履歴書^{いれきしよ}を書いたことがありますか。1つ^{えら}選んでチェック(☑)してください。

- ☐ ①自分^{じぶん}で書いたことがある ☐ ②助けてもらって書いたことがある ☐ ③書いたことがない

II. 「日本の会社^{かいしゃ}で働きたい人^{はたら}のためのWEB教材^{きょうざい}」についてお聞きます。

1. あなたが日本^{にほん}で就職^{しゅうしよく}、転職^{てんしよく}する際^{さい}、この教材^{きょうざい}が役に立つ^{やく た} と思いますか。1つ^{えら}選んでチェック(☑)してください。

1) 全体^{ぜんたい}を通して

- ☐ ①とても役に立つ^{やく た} ☐ ②役に立つ^{やく た} ☐ ③あまり役に立たない⇒@ ☐ ④まったく役立たない ⇒@
⇒@ ③④と答えた方^{こた かた}へ…それはどうしてですか。

2) 「日本語PC^{にほんご}の基本操作練習^{きほんそうさるんしゅう}」

- ☐ ①とても役に立つ^{やく た} ☐ ②役に立つ^{やく た} ☐ ③あまり役に立たない ⇒@ ☐ ④まったく役立たない⇒@
⇒@ ③④と答えた方^{こた かた}へ…それはどうしてですか。

3) 「履歴書^{いれきしよ}の記入^{きにゅう}」

- ☐ ①とても役に立つ^{やく た} ☐ ②役に立つ^{やく た} ☐ ③あまり役に立たない ⇒@ ☐ ④まったく役立たない⇒@
⇒@ ③④と答えた方^{こた かた}へ…それはどうしてですか。

⇒「履歴書^{いれきしよ}の記入^{きにゅう}」で特にむずかしいのは次のどれですか。1つ^{えら}選んでチェック(☑)してください。

- ☐ ①学歴^{がくれき} ☐ ②職歴^{しよくれき} ☐ ③免許・資格^{めんきょ しかく} ☐ ④特技・趣味^{とくぎ しゆみ}

⇒ それはどうしてですか。

4) 「就職面接」

- ①とても役に立つ □ ②役に立つ □ ③あまり役に立たない ⇒@ □ ④まったく役立たない⇒@
⇒@ ③④と答えた方へ・・・それはどうしてですか。

2. 「日本の会社で働きたい人のための WEB 教材」に関するコメントをご記入ください。

(特に役に立ったこと、改善してほしいことなど)。

3. 「日本の会社で働きたい人のための WEB 教材」でどんな教材があったらいいと思いますか。

4. この教材を友だちに勧めたいですか。

- はい □ いいえ

ご協力ありがとうございました。

公益社団法人 国際日本語普及協会 (AJALT)

支援者のみなさまへのアンケート

「日本の会社で働きたい人のための WEB 教材」をよりよいものにするために、アンケートにご協力ください。
いただいた回答は、上記の目的以外のために使うことはありません。

団体名 _____ ご回答者のお名前 _____

- この教材を使用した学習者の人数 []人
- | | | | |
|----------------|-------------|---------------|-------------|
| うち自立的に学習ができた人数 | []人 | 支援者と一緒に学習した人数 | []人 |
| 最初から最後まで学習した人 | []人 | 部分的に使った人 | []人 |

自立的に学習できなかった場合、その理由を選んでください。

- ☐ パソコンでの日本語入力に慣れていない
☐ 講師の説明が難しかった
☐ 説明の時に出てくる語彙、漢字がわからなかった
☐ その他（ ）

- 今まで学習者が就職、転職を希望し、履歴書を提出する際どうしていましたか。
- ☐ 支援者が学習者の履歴を聞きながら、履歴書に記入した
- ☐ 学習者が書いた履歴書に支援者が赤を入れ、学習者が清書した
- ☐ そのほか()

●教材—各セクションについて

1. 『日本語入力の実習』

講師の説明について	とてもわかりやすい ・ わかりやすい ・ ちょっとわかりにくい ・ わかりにくい
説明に使っている語彙について	ちょうどいい ・ 難しい語彙もあるがいい ・ ちょっと難しい ・ 難しい
練習問題の数について	ちょうどいい ・ もっとあった方がいい ・ もっと少ない方がいい

＜改善点他ご感想をご記入ください＞

2.『履歴書の書き方』

講師の説明について とてもわかりやすい ・ わかりやすい ・ ちょっとわかりにくい ・ わかりにくい
説明に使っている語彙について ちょうどいい ・ 難しい語彙もあるがいい ・ ちょっと難しい ・ 難しい

＜改善点他ご感想をご記入ください＞

3. 『面接』

講師の説明について	とてもわかりやすい ・ わかりやすい ・ ちょっとわかりにくい ・ わかりにくい
説明に使っている語彙について	ちょうどいい ・ 難しい語彙もあるがいい ・ ちょっと難しい ・ 難しい

<改善点他ご感想をご記入ください>

- そのほかこの教材について、全体的にお気づきの点やご感想等がありましたら、ご記入ください。

- 日本での就職、転職を考えている学習者のために、どのような WEB 教材があると思いますか。

ご協力ありがとうございました。

公益社団法人 国際日本語普及協会(AJALT)

がくしゅうしゃ

学習者のみなさまへのアンケート

「日本の会社で働きたい人のための WEB 教材」をよりよいものにするために、アンケートにご協力ください。

いただいた回答は、上記の目的以外のために使うことはありません。

I. あなたのことを教えてください。

おとこ 男 ・ おんな 女 ねんれい 年齢 さい 歳 こくせき 国籍

1. あなたのお仕事についてお聞きします。

げんざい 現在のお仕事をお書きください(詳しく書いてください)。

⇒

2. あなたは、近い将来日本で就職または転職したいと考えていますか。1つ選んでチェック(☑)してください。

☐ ①この教材で勉強する前から考えていた

☐ ②この教材で勉強して考えるようになった

☐ ③近い将来には就職、転職を考えていないが、いつかは考えたいと思っている。

☐ ④新たに就職、転職したいとは考えていない。

3. 2. で①②③と答えた方にお聞きします。

こんご 今後どのような仕事に就きたいか教えてください。

⇒

4. 普段パソコンをよく使っていますか。1つ選んでチェック(☑)してください。

☐ ①よく使っている ☐ ②時々使っている ☐ ③あまり使わない ☐ ④まったく使わない

5. 4. で①と②に☑した方にお聞きします。

パソコンで日本語入力ができますか。1つ選んでチェック(☑)してください。

☐ ①問題なくできる ☐ ②そんなに問題なくできる ☐ ③あまりできない ☐ ④まったくできない

6. パソコンを使^{つか}って日本語^{にほんご}でメールをしていますか。1つ選^{えら}んでチェック(☑)してください。

- ☐ ①よくしている ☐ ②時々^{ときどき}している ☐ ③あまりしていない ☐ ④まったくしていない

7. 今までに履歴書^{いれきしよ}を書^かいたことがありますか。1つ選^{えら}んでチェック(☑)してください。

- ☐ ①自分^{じぶん}で書^かいたことがある ☐ ②助^{たす}けてもら^かって書^かいたことがある ☐ ③書^かいたことがない

II. 「日本の会社^{にほん かいしゃ}で働^{はたら}きたい人^{ひと}のための WEB 教材^{きょうざい}」についてお聞^ききします。

1. あなたが日本^{にほん}で就職^{しゅうしよく}、転職^{てんしよく}する際^{さい}、この教材^{きょうざい}が役^{やく}に立^たつと思^{おも}いますか。1つ選^{えら}んでチェック(☑)してください。

1) 全体^{ぜんたい}を通^{とお}して

- ☐ ①とても役^{やく}に立^たつ ☐ ②役^{やく}に立^たつ ☐ ③あまり役^{やく}に立^たたない ⇒ @ ☐ ④まったく役^{やく}に立^たたない ⇒ @
⇒ @ ③④と答^{こた}えた方^{かた}へ・・・それはどうしてですか。

2) 「日本語 PC の基本^{きほん}操作^{そうさ}練習^{れんしゅう}」

- ☐ ①とても役^{やく}に立^たつ ☐ ②役^{やく}に立^たつ ☐ ③あまり役^{やく}に立^たたない ⇒ @ ☐ ④まったく役^{やく}に立^たたない ⇒ @
⇒ @ ③④と答^{こた}えた方^{かた}へ・・・それはどうしてですか。

3) 「履歴書^{いれきしよ}の記入^{きにゅう}」

- ☐ ①とても役^{やく}に立^たつ ☐ ②役^{やく}に立^たつ ☐ ③あまり役^{やく}に立^たたない ⇒ @ ☐ ④まったく役^{やく}に立^たたない ⇒ @
⇒ @ ③④と答^{こた}えた方^{かた}へ・・・それはどうしてですか。

⇒「履歴書^{いれきしよ}の記入^{きにゅう}」で特にむずかしいのは次のどれですか。1つ選^{えら}んでチェック(☑)してください。

- ☐ ①学歴^{がくれき} ☐ ②職歴^{しよくれき} ☐ ③免許^{めんきょ}・資格^{しかく} ☐ ④特技^{とくぎ}・趣味^{しゆみ}

⇒ それはどうしてですか。

4) 「就職面接」

☐ ①とても役に立つ ☐ ②役に立つ ☐ ③あまり役に立たない ⇒@ ☐ ④まったく役立たない⇒@

⇒@ ③④と答えた方へ・・・それはどうしてですか。

2. 「日本の会社で働きたい人のための WEB 教材」に関するコメントをご記入ください。

(特に役に立ったこと、改善してほしいことなど)。

3. 「日本の会社で働きたい人のための WEB 教材」でどんな教材があつたらいいと思いますか。

4. この教材を友だちに勧めたいですか。

☐ はい ☐ いいえ

ご協力ありがとうございました。

学習者の方によるアンケート集計結果【3/15現在】

1. 学習者について

■回答者数

E-learningの実証試験における全学習者数

回答者数(スクーリング対象者)

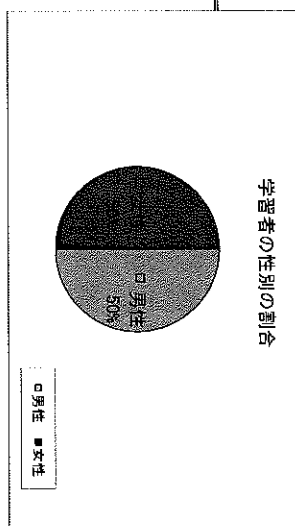
18
5

回答率 27.78%

■この教材を使用した学習者について

①支援団体と性別、人数について

団体名	支援者回答 学習者数	性別		人数	回答率
		男性	女性		
スクーリング	5	2	2	4	80.00%
		2	2	4	
全体		2	2	4	
回答者における性別比%		50.00%	50.00%	100.00%	

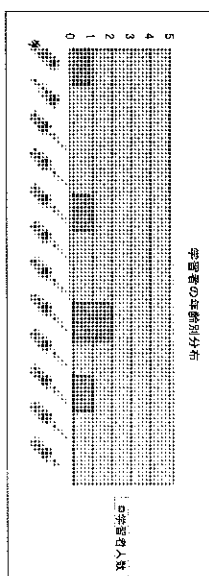


②団体別の年齢構成比

団体名	未回答	19歳	20歳～ 24歳	25歳～ 29歳	30歳～ 34歳	35歳～ 39歳	40歳～ 44歳	45歳～ 49歳	50歳～ 54歳	55歳～ 59歳	60歳～ 64歳	65歳～ 合計
スクーリング	1	0	0	0	1	0	0	2	0	1	0	5
全体	1	0	0	0	1	0	0	2	0	1	0	5
%	20.00%	0.00%	0.00%	0.00%	20.00%	0.00%	0.00%	40.00%	0.00%	20.00%	0.00%	100.00%

③学習者の国籍

団体名	エリア	未回答	アジア	オセアニア	韓国	アメリカ	中東	小計
スクーリング	エリア計	0	2	1	1	4	1	5

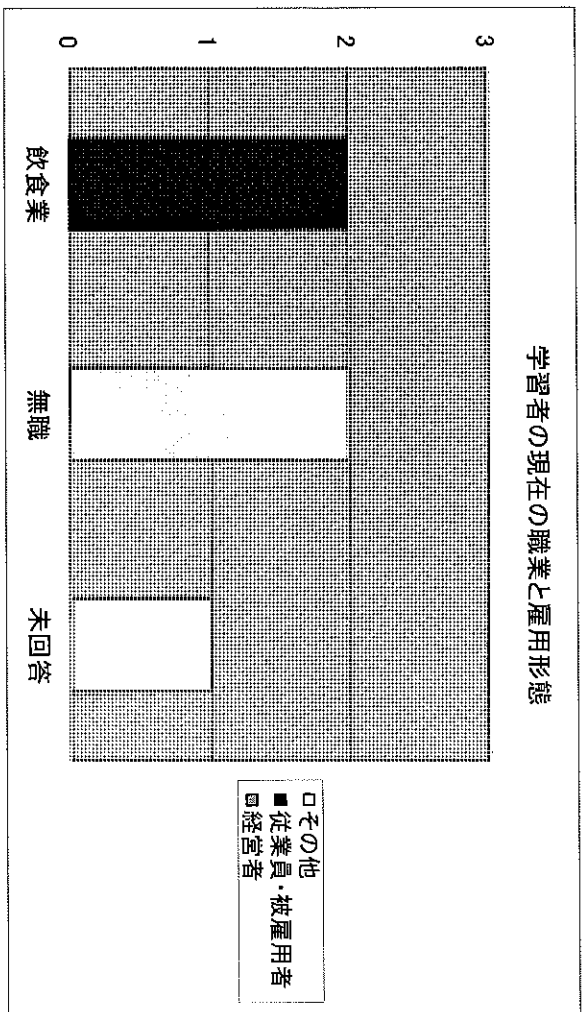


■質問1. 学習者の現在の職業について

業種	雇用状態			合計
	経営者	従業員・被雇用者	その他	
飲食業		2		2
無職				2
未回答				1
全体	0	2	3	5

<職業の詳細について>

- a)飲食業について
- ・焼き鳥店のホールで働いている
 - ・ラーメン屋の店長として働いている



■質問2. 近い将来日本で就職または転職を考えていますか？（重複回答なし）

選択肢		回答数	割合
①この教材で勉強する前から考えていた		2	40.00%
②この教材で勉強して考えるようになった		1	20.00%
③近い将来には就職、転職を考えていないが、いつかは考えたいと思っている。		1	20.00%
④新たに就職、転職をしたいとは考えていない		1	20.00%
合計		5	100.00%

■質問3. 質問2で①②③と答えた方にお聞きます。

今後、どのような仕事に着きたいですか？

a) 現職と同じ仕事か

団体名	現職と同じ	違う	無回答	合計
スクーリング		3	2	3
回答数	0	3	2	3
割合	0.00%	100.00%	66.67%	100.00%

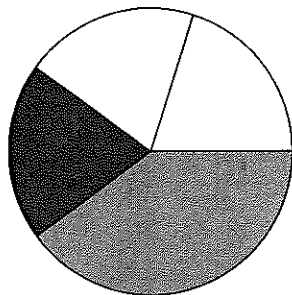
b) 今後就きたい仕事について

		就きたい仕事				
現職		国際貿易	運送関係	留学関係	サービス業	その他
飲食業						
学生						
無職	1		1	1		1
合計						4

<就きたい仕事についての詳細>

- ・貿易関係または機械操作または運転手の仕事をしたい
- ・留学のサポート関係の仕事

質問2. 近い将来日本で就職または転職を考えているか？



- ①この教材で勉強する前から考えていた
- ②この教材で勉強して考えるようになった
- ③近い将来には就職、転職を考えていないが、いつかは考えたいと思っている。
- ④新たに就職、転職をしたいとは考えていない。

■質問4. 普段パソコンをよく使っていますか？（重複回答なし）

選択肢	回答数	割合
①よく使っている	4	80.00%
②時々使っている		0.00%
③あまり使わない	1	20.00%
④まったく使わない		0.00%
合計	5	100.00%

■質問5. 質問4で①②と答えた方にお聞きします。パソコンで日本語入力出来ますか？（重複回答なし）

選択肢	回答数	割合
①問題なく出来る	2	50.00%
②そんなに問題なく出来る	2	50.00%
③あまりできない		0.00%
④まったくできない		0.00%
合計	4	100.00%

【回答なし】 1

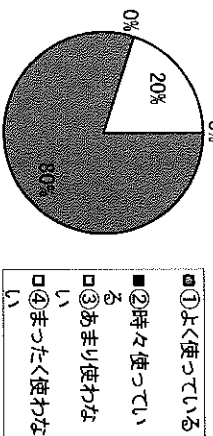
■質問6. パソコンを使って日本語でメールをしていますか？（重複回答なし）

選択肢	回答数	割合
①よくしている	1	25.00%
②時々している	2	50.00%
③あまりしていない	1	25.00%
④まったくしていない	1	25.00%
合計	5	125.00%

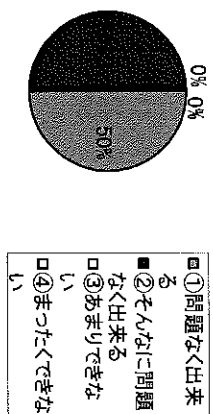
■質問7. 今までに履歴書を書いたことがありますか？（重複なし）

選択肢	回答数	割合
①自分で書いたことがある	2	50.00%
②助けてもらって書いたことがある	3	75.00%
③書いたことがない		0.00%
合計	5	125.00%

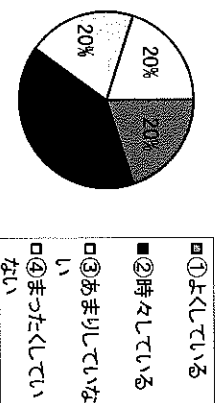
質問4. 普段パソコンをよく使っていますか？
（重複回答なし）



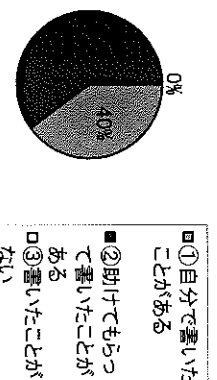
質問5. パソコンで日本語入力出来ますか？
（重複回答なし）



質問6. パソコンを使って日本語でメールをしていますか？
（重複回答なし）



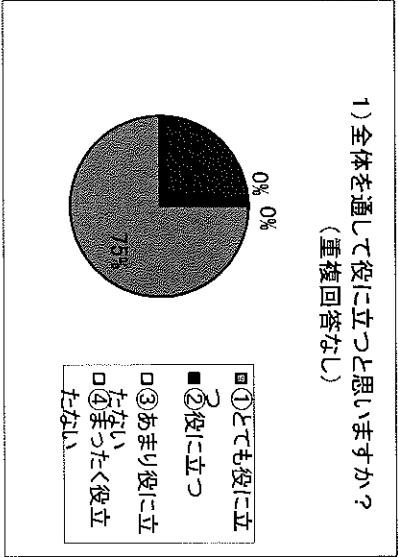
質問7. 今までに履歴書を書いたことがありますか？
（重複回答なし）



Ⅱ. 「日本の会社で働きたい人のためのWEB教材について」についての質問

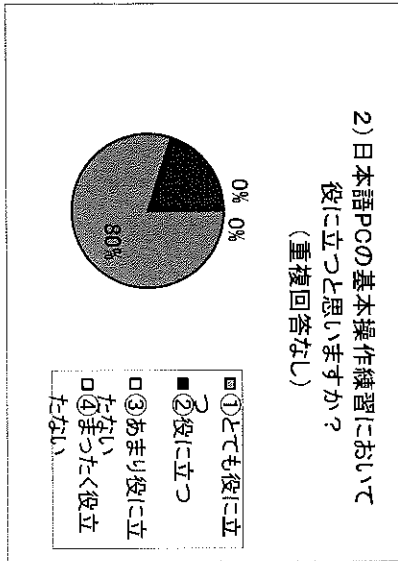
■質問1. あなたが日本で就職、転職する際、この教材が役に立つと思いますか？（重複回答なし）
1)全体を通して

選択肢	回答数	割合
①とても役に立つ	3	75.00%
②役に立つ	1	25.00%
③あまり役に立たない		0.00%
④まったく役立たない		0.00%
合計	4	100.00%



2) 日本語PCの基本操作練習

選択肢	回答数	割合
①とても役に立つ	4	80.00%
②役に立つ	1	20.00%
③あまり役に立たない		0.00%
④まったく役立たない		0.00%
合計	5	100.00%

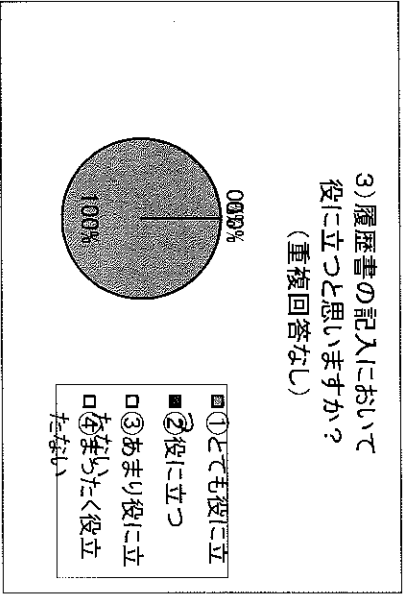


II. 「日本の会社で働きたい人のためのWEB教材について」についての質問

■質問1. あなたが日本で就職、転職する際、この教材が役に立つと思いますか？（重複回答なし）

3)「履歴書の記入」

選択肢		回答数	割合
①	とても役に立つ	4	100.00%
②	役に立つ		0.00%
③	あまり役に立たない		0.00%
④	まったく役立たない		0.00%
合計		4	100.00%



<履歴書の記入で難しいのはどれですか？（重複回答なし）>

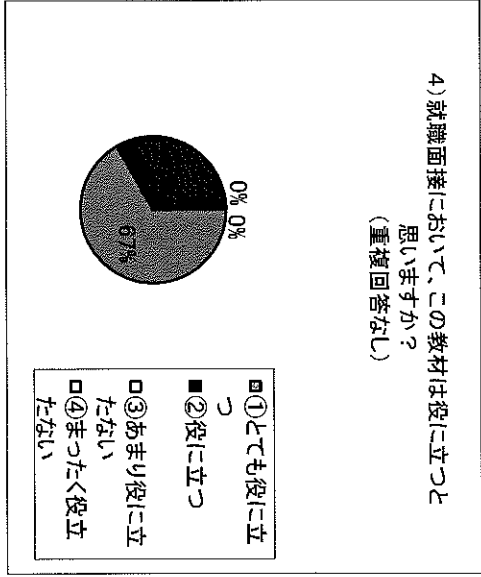
選択肢		回答数	割合
①	字歴		#DIV/0!
②	職歴		#DIV/0!
③	免許・資格		#DIV/0!
④	趣味・特技		#DIV/0!
合計		0	#DIV/0!

Ⅱ. 「日本の会社で働きたい人のためのWEB教材について」についての質問

■質問1. あなたが日本で就職、転職する際、この教材が役に立つと思いますか？（重複回答なし）
4)「就職面接」

選択肢		回答数	割合
①とても役に立つ		2	66.67%
②役に立つ		1	33.33%
③あまり役に立たない			0.00%
④まったく役立たない			0.00%
合計		3	100.00%

<③④の回答をした人の理由について>



II. 「日本の会社で働きたい人のためのWEB教材について」についての質問

■質問2. 「日本の会社で働きたい人のためのWEB教材」に関するコメントをご記入ください。

(特に役立ったこと、改善してほしいことなど)

- ・ひらがな
- ・基本的な面接スキルを身に着けることができました。
- ・もっと詳しい、細かいところまで勉強したいです。
- ・日本の社会人として働くため、わからないことをやさしく説明していただいた。特に面接を受ける時に着る服や話し方が勉強になった

■質問4. 「日本の会社で働きたい人のための勉強会」に関するコメントを記入してください

- ・たのしかった。
- ・来たときはパソコンの操作が全然出来なかったが、今は出来るようになった。
- ・職務経歴書の書き方を勉強したいです。
- ・もう少し働くための勉強に費やす時間を延ばしたいです。
- ・とてもよくて先生方もやさしく説明してくれた

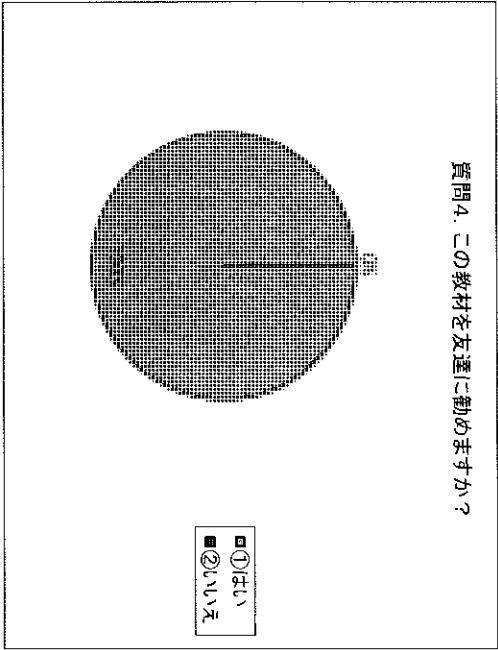
■質問3. 「日本の会社で働きたい人のためのWEB教材」でどんな教材があったらいいと思いますか？

- ・漢字のことでもっと勉強出来たらいいと思う。
- ・職務経歴書の書き方についての教材があったらいいと思います。
- ・今使っている教材がとってもいいと思う

Ⅱ. 「日本の会社で働きたい人のためのWEB教材について」についての質問

■質問4. この教材を友達に勧めますか？

選択肢		回答数	割合
①	はい	5	100.00%
②	いいえ		0.00%
合計		5	100.00%



学習者の方によるアンケート集計結果(3/25現在)

1 学習者について

■回答者数

E-Learningの実証試験における全学習者数

回答者数(除くスクリーニング)

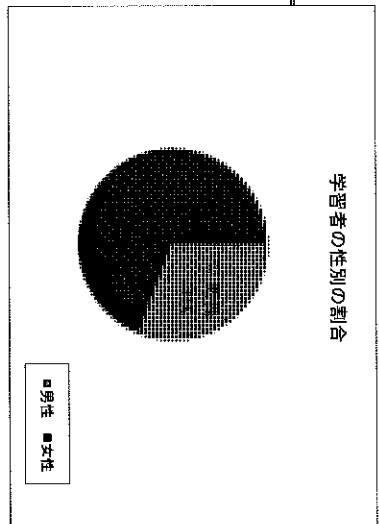
18
13

回答率 72.22%

■この教材を使用した学習者について

①支援団体と性別、人数について

団体名	学習者回答 学習者数	性別		人数	回答率
		男性	女性		
UTMくしま日本語センター	4		4	4	100.00%
中央		2	3	5	
みどり土曜にほんご学校	4		1	1	25.00%
花見川土曜にほんご学校	1	1	1	2	200.00%
所属不明				1	
全体	9	4	9	13	
回答者における性別比率%		30.77%	69.23%	100.00%	

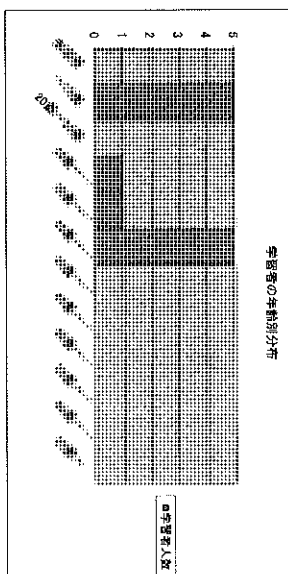


②団体別の年齢構成比

団体名	未回答	19歳～	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～	合計
UTMくしま日本語センター						4							4
中央		5											5
みどり土曜にほんご学校					1								1
花見川土曜にほんご学校				1			2						2
不明													1
全体	0	5	0	1	1	6	0	0	0	0	0	0	13
%	0.00%	38.46%	0.00%	7.69%	7.69%	46.15%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%

③学習者の国籍

団体名	エリア	アジア	モソゴル	中国	アメリカ	南米	欧州	イタリヤ	小計
UTMくしま日本語センター	国	4							4
中央		3	1		1				5
みどり土曜にほんご学校				1					1
花見川土曜にほんご学校					1				2
不明				1					1
国別計		7	1	2	1	1	1	1	13
エリア計				10	1	1	1	1	13



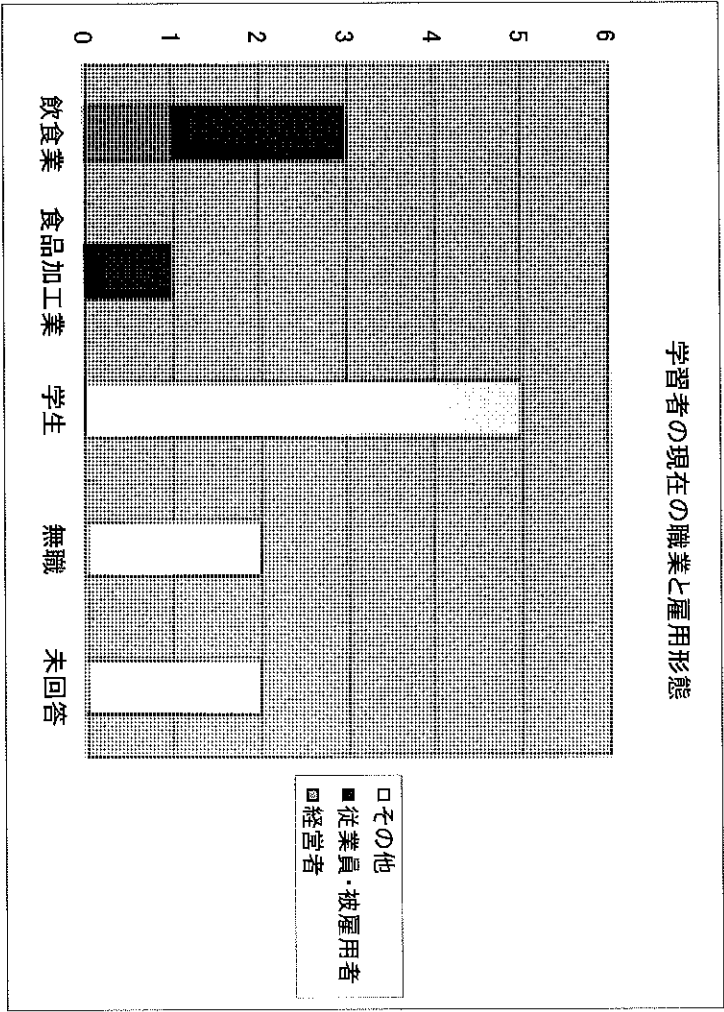
■質問1. 学習者の現在の職業について

業種	雇用状態			合計
	経営者	従業員・被雇用者	その他	
飲食業	1	2		3
食品加工業		1		1
学生			5	5
無職			2	2
未回答			2	2
全体	1	3	9	13

<職業の詳細について>

a) 飲食業について

b) 食品加工業について
・水産魚の選別と箱詰め



■質問2. 近い将来日本で就職または転職を考えていますか？（重複回答なし）

選択肢	回答数	割合
①この教材で勉強する前から考えていた	10	76.92%
②この教材で勉強して考えるようになった	1	7.69%
③近い将来には就職、転職を考えていないが、いつかは考えたいと思っている。	2	15.38%
④新たに就職、転職をしたいとは考えていない。	0	0.00%
合計	13	100.00%

■質問3. 質問2で①②③と答えた方にお聞きます。

今後、どのような仕事に着きたいですか？

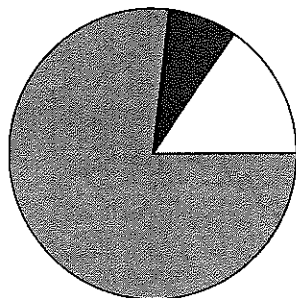
a) 現職と同じ仕事か	現職と同じ	違う	無回答	合計
団体名	0	4		4
UTMとくしま日本語ワーカー		5		5
中央		1		1
みどり土曜にほんご学校		1		1
花見川土曜にほんご学校		1		1
回答数	0	11	1	11
割合	0.00%	100.00%	9.09%	100.00%

b) 今後就きたい仕事について

	就きたい仕事						合計
現職	介護	旅行関係	国際貿易	飲食関係	IT関係	その他	
飲食業	3						3
食品加工業	1					1	2
学生		1	2				3
無職				1	1		2
合計	4	1	2	1	1	1	10

- ＜就きたい仕事についての詳細＞
- ・ずっと続けたいと思える仕事かしたい。
 - ・介護の仕事かしたい
 - ・ホームヘルパーになりたい
 - ・介護に関係する仕事かしたい
 - ・料理が好きなので、料理の仕事かしたい。
 - ・9時～の仕事（17時～働いているので、昼間の仕事かしたい）
 - ・コンピュータ関係の仕事

質問2. 近い将来日本で就職または転職を考えているか？

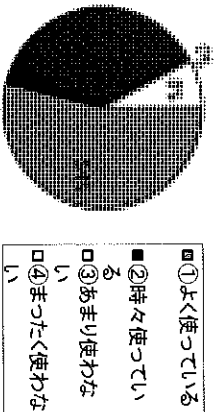


- ☒ ①この教材で勉強する前から考えていた
- ☒ ②この教材で勉強して考えるようになった
- ☐ ③近い将来には就職、転職を考えていないが、いつかは考えたいと思っている。
- ☐ ④新たに就職、転職をしたいとは考えていない。

■質問4. 普段パソコンをよく使っていますか？（重複回答なし）

選択肢	回答数	割合
①よく使っている	7	53.85%
②時々使っている	5	38.46%
③あまり使わない	0	0.00%
④まったく使わない	1	7.69%
合計	13	100.00%

質問4. 普段パソコンをよく使っていますか？
（重複回答なし）



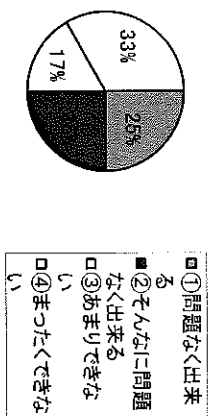
■質問5. 質問4で①②と答えた方にお聞きます。パソコンで日本語入力出来ますか？（重複回答なし）

選択肢	回答数	割合
①問題なく出来る	3	25.00%
②そんなに問題なく出来る	3	25.00%
③あまり出来ない	2	16.67%
④まったく出来ない	4	33.33%
合計	12	100.00%

【重複回答による無効】

1

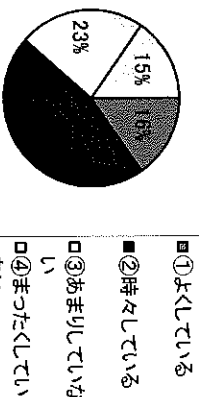
質問5. パソコンで日本語入力出来ますか？
（重複回答なし）



■質問6. パソコンを使って日本語でメールをしていますか？（重複回答なし）

選択肢	回答数	割合
①よくしている	2	16.67%
②時々している	6	50.00%
③あまりしていない	3	25.00%
④まったくしていない	2	16.67%
合計	13	108.33%

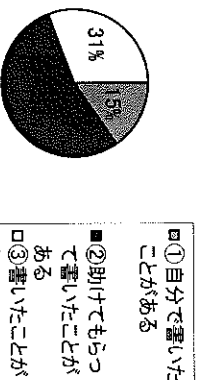
質問6. パソコンを使って日本語でメールをしていますか？
（重複回答なし）



■質問7. 今までに履歴書を書いたことがありますか？（重複なし）

選択肢	回答数	割合
①自分で書いたことがある	2	16.67%
②助けてもらって書いたことがある	7	58.33%
③書いたことがない	4	33.33%
合計	13	108.33%

質問7. 今までに履歴書を書いたことがありますか？
（重複回答なし）



Ⅱ.「日本の会社で働きたい人のためのWEB教材について」についての質問

■質問1. あなたが日本で就職、転職する際、この教材が役に立つと思いますか？(重複回答なし)
1)全体を通して

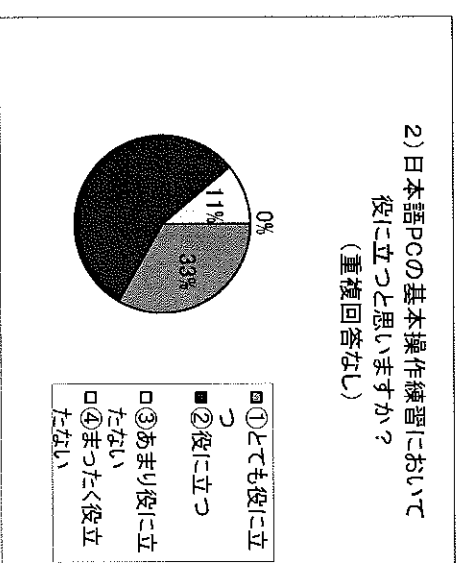
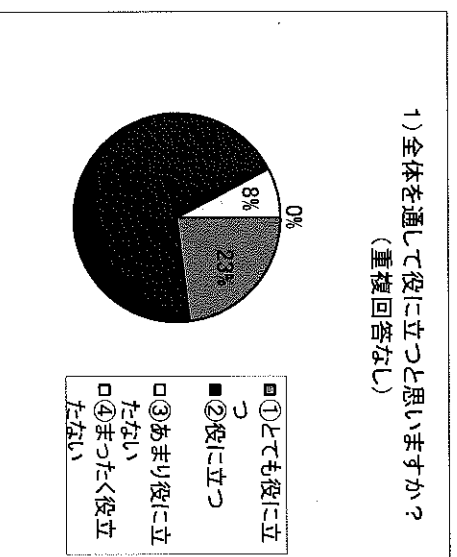
選択肢	回答数	割合
①とても役に立つ	3	23.08%
②役に立つ	9	69.23%
③あまり役に立たない	1	7.69%
④まったく役立たない		0.00%
合計	13	100.00%

<③④の回答をした人の理由について>
・使い方がよく分からなかった。

2) 日本語PCの基本操作練習

選択肢	回答数	割合
①とても役に立つ	3	33.33%
②役に立つ	5	55.56%
③あまり役に立たない	1	11.11%
④まったく役立たない		0.00%
合計	9	100.00%

<③④の回答をした人の理由について>
・日本語が分からない人の立場で作られていないと思うから



Ⅱ.「日本の会社で働きたい人のためのWEB教材について」についての質問

■質問1. あなたが日本で就職、転職する際、この教材が役に立つと思いますか？(重複回答なし)
 3)「履歴書の記入」

選択肢	回答数	割合
①とても役に立つ	5	38.46%
②役に立つ	7	53.85%
③あまり役に立たない	1	7.69%
④まったく役立たない		0.00%
合計	13	100.00%

<③④の回答をした人の理由について>

・元々、履歴書というものがどういうものか分からない。

<履歴書の記入で難しいのはどれですか？(重複回答なし)>

選択肢	回答数	割合
①学歴	1	10.00%
②職歴	4	40.00%
③免許・資格	4	40.00%
④趣味・特技	1	10.00%
合計	10	100.00%

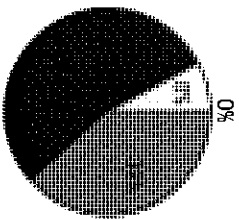
【複数回答による無効】

1

<難しい理由は何ですか？>

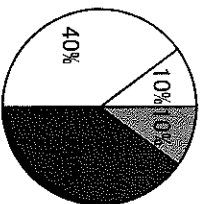
- ・難しい漢字を書かなければならないから
- ・卒業した年月がすぐ分かるページがサイトの中にあればいい
- ・職歴が多すぎて正確に思い出せない。
- ・上手に書けないから
- ・わからないから
- ・書き方がわからないから

3)履歴書の記入において
役に立つと思いますか？
(重複回答なし)



☐ ①とても役に立つ
☒ ②役に立つ
☐ ③あまり役に立たない
☐ ④まったく役立たない

4)履歴書の記入において
難しい項目はどれですか？
(重複回答なし)



☐ ①学歴
☒ ②職歴
☒ ③免許・資格
☐ ④趣味・特技

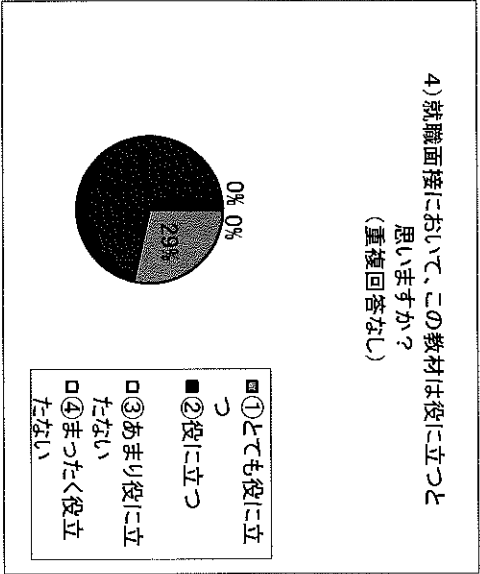
II. 「日本の会社で働きたい人のためのWEB教材について」についての質問

■質問1. あなたが日本で就職、転職する際、この教材が役に立つと思いますか？（重複回答なし）

4)「就職面接」

選択肢	回答数	割合
①とても役に立つ	2	28.57%
②役に立つ	5	71.43%
③あまり役に立たない		0.00%
④まったく役立たない		0.00%
合計	7	100.00%

<③④の回答をした人の理由について>



II. 「日本の会社で働きたい人のためのWEB教材について」についての質問

■質問2. 「日本の会社で働きたい人のためのWEB教材」に関するコメントをご記入ください。

- (特に役立ったこと、改善してほしいことなど)
- ・先生方の教え方が上手なのでよく理解できた。改善する必要は無いと思う。
 - ・練習問題を多くしてほしい
 - ・難しい。使えない。たぶん、作った人の中(もしくは周囲に)外国の人が居ないのだから、外人について分からないのではないか。
 - ・速度が速い。遅くしてほしい。

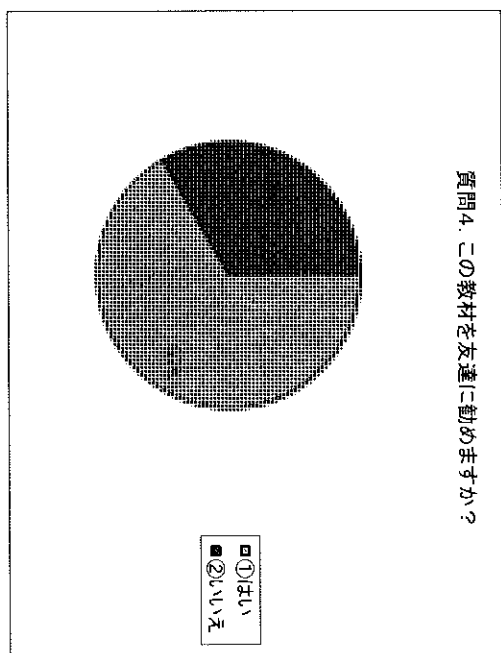
■質問3. 「日本の会社で働きたい人のためのWEB教材」でどんな教材があったらいいと思いますか？

- ・なんでもあるのでいいと思います。
- ・書く練習が出来る教材
- ・英語版があればいいと思う。
- ・レポートの書き方がわかる教材
- ・書いた履歴書が正しいかどうか分かるサイト
- ・資格取得のために、全文フリガナを振っている参考書

II. 「日本の会社で働きたい人のためのWEB教材について」についての質問

■質問4. この教材を友達に勧めますか？

選択肢		回答数	割合
①	はい	4	66.67%
②	いいえ	2	33.33%
合計		6	100.00%



支援者の方によるアンケート集計結果【3/14現在】

■ 回答者数

E-Learningの実証試験における全支援者数
回答者数

11

回答率 #DIV/0!

■ この教材を使用した学習者の人数について(重複回答あり)

回答した団体	内訳				学習者数 合計
	自立的に 学習が 出来た	支援者と 一緒に学 習した	最初から 最後まで 学習した	部分的に 使った	
みどり土曜にほんご学級		4			4
花見川土曜にほんご学級		1			1
熊本市国際交流振興事業団				1	1
JTMとくしま日本語ネットワーク	4		4		4
センティ土曜日本語学校	3	2		5	5
未回答					1
合計	7	7	4	6	16

① 自立的に学習できなかった場合の理由について(複数回答あり)

理由	回答数	割合
パソコンでの日本語入力に慣れていない	5	45.45%
講師の説明が難しかった	2	18.18%
説明のときに出てくる語彙、漢字がわからなかった	6	54.55%
その他	2	18.18%
未回答		0.00%
合計	11	100.00%

<その他について>

- ・パソコン入力操作を学習者ではなく、支援者が行ったため。
- ・高校1年生～3年生の生徒が学習した。日本語能力試験N1,N2合格者、N3不合格者とレベ

■ 今まで学習者が就職転職を希望して、履歴書を提出する際について

従来の対応について

	回答数	割合
支援者が学習者の履歴を聞きながら、履歴書に記入した		
学習者が書いた履歴書に支援者が赤を入れ、学習者が清書した		
その他	6	54.55%
未回答		
合計	11	100.00%

<その他について>

	回答数	割合
学習者の書いた履歴書を、支援者以外の者(家族等)が添削した	1	16.67%
見本提示等、書き方を説明して学習者が作成	2	33.33%
就職活動をする学習者が居ない(レベル未到達も含む)	2	33.33%
未回答	1	16.67%

■教材一各セッションについて(未解答を除く)
1)日本語入力の練習

①講師の説明について

回答内容	回答数	割合
とてもわかりやすい	2	25.00%
わかりやすい	5	62.50%
ちよつとわかりにくい		0.00%
わかりにくい	1	12.50%

②説明に使っている語彙について

回答内容	回答数	割合
ちようどいい	2	33.33%
難しい語彙もあるがいい	3	50.00%
ちよつと難しい		0.00%
難しい	1	16.67%

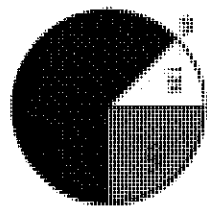
③練習問題の数について

回答内容	回答数	割合
ちようどいい	2	40.00%
もっとあった方がい	3	60.00%
もっと少ない方がい		0.00%

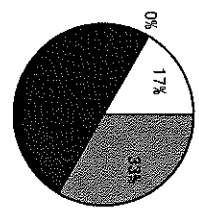
④改善点等、感想について

- ・あっているはずなのに不正解となった。Windows8に対応しているか？入力は問題ない。
- ・パソコン用語など説明に用いる単語が難しい。用語の説明が最初にあると良い。
- ・日本語入力の方法の説明は、とてもわかりやすくて良い
- ・クイズに関する説明は日本語だけでなく、英語も欲しい
- ・文字入力の際のポインタが先頭に来るほうがよい。
- ・ひらがなモードで入力できる状態が標準であると良い。
- ・練習問題を増やし、実践に結び付けていくと後のセッションをスムーズに行うことが出来る。
- ・クイズの設定には、就職活動で使う語彙を積極的に取り入れていて良かった。設問数が5問のユニットがあったが、やはりフィードバックできるよう10問はあったほうが良いと感じた。
- ・「かなわがけん」「みなとく」がクイズの設定にあったが、首都圏と地方の学習者にとって役立つ度合いが違ふと感じた。限られた設問であるので、全国の就職を目指す人たちに役立つよう共通した語彙を設定に取り上げてほしいと思う。

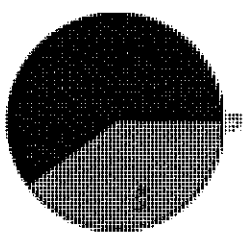
①講師の説明について



②説明に使っている語彙について



③練習問題の数について



■教材についての感想等

- ・PCの日本語入力力は漢字変換などかなり難しい。練習を繰り返し行い、指導者がよくチェックをする必要があると実感した。
- ・履歴書がダウンロード出来るのが良い。
- ・面接については、入室から退室までの説明がわかりやすいので良かった。
- ・日本語入力から履歴書作成、面接と一連の流れで出来ており、きめ細かいEラーニングシステムと思った。
- ・コンテンツとしてはすばらしく、使用目的が明快である。
- ・私が支援した学習者にとっては語彙が少し難しすぎたようで、順調には進まなかったようだ。
- ・しかし、履歴書がどのようなものを学習者がきちんと理解できたと思う。
- ・Eラーニング教材を使って就職活動をする外国の方々を支援する人たちのための研修会があれば、より今後の就労支援に活かせると思う。
- ・東京室では通常パソコンを使った学習をしていないので、今回はホラテアがパソコンを持ってきた。この教材を使いこなすのは難しい状況である。

■日本での就職、転職に対して、どのようなWeb教材がよいのか

- ・転職希望者向けに、事務系やフリース、工場系などのタイプ別によく使う単語やフレーズ、挨拶があればいい。
- ・日本で働く人向けのマナーやタマシもあると良い。
- ・自己分析・会社分析の方法、個人の能力として、外国人ならではの長所や独自性のアピールのやり方、これらを踏まえた就職ガイダンスや面接試験の具体的内容での練習等、もう1歩進んだものがあると良い。
- ・実際に体験できると良いと思った(Skypeなど。教材ではないかもしれないが)
- ・仕事で使用する丁寧語について
- ・日本の会社における礼儀作法
- ・仕事の見つけ方
- ・求人情報の見方が分かる教材。例えば、「職種、就業形態、賞与、通勤手当」などの語彙の説明。
- ・自分にはどのような職種が向いているか、適正検査が出来るものがあれば、就職活動がしやすいと思う。
- ・雇用保険や社会保険のポイントが学べる教材
- ・ビジネスマナーが解説とクイズで学べる教材
- ・労働法規や就業規則の基礎的な知識が習得できる教材

2) 履歴書の書き方

①講師の説明について

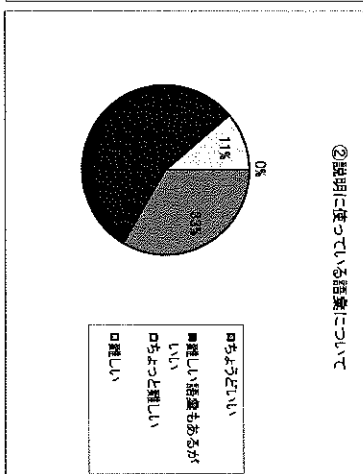
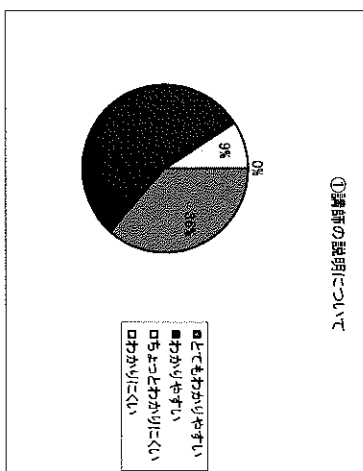
回答内容	回答数	割合
とてもわかりやすい	4	36.36%
わかりやすい	6	54.55%
ちょっとわかりにくい	1	9.09%
わかりにくい		0.00%

②説明に使っている語彙について

回答内容	回答数	割合
ちよっどいい	3	33.33%
難しい言葉もあるがいい	5	55.56%
ちよっど難しい	1	11.11%
難しい		0.00%

③改善点等、感想について

- ・保護者の意味がわかりにくい(親とは限らない)
- ・西暦、和暦の米河、時が小さくて見えにくく、説明もわかりにくい
- ・志望動機には大事なので、もう少し詳しく説明して、例も多くして欲しい。
- ・履歴書の言葉は難しいが、項目に関してはわかり易い。ただ、記入すべき言葉は外国人には難しい。もう少し平易な言葉にするか、詳しい説明を追加して欲しい。
- ・履歴書フォームがタビローで出来るのは、良いと思う。
- ・履歴書の項目ごとのルビや説明があり、分かりやすい。



・履歴書の書き方21氏名・年齢・住所・連絡先の和暦・西暦並列照表の文字をもっと大きくする
か、あるいは説明時に年号が大きく浮き上がってしまうような紹介の仕方が分かりやすいと
思っ
た
・履歴書の書き方51免許・資格・日本語能力試験などの欄の表記について、ご指摘があつた
たかもしれませんが、赤字のような表記が望ましいと思います。ご検討いただければ幸いです。
※フオークリフト運転技能講習修了書

※フオークリフト運転技能講習修了書

※介護職員初任者研修課程

- ・講師の説明が丁寧で興味を持っていた。

- ・講師の説明が丁寧で興味を持っていた。

3) 面接

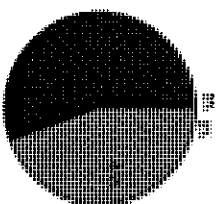
① 講師の説明について

回答内容	回答数	割合
とてもわかりやすい	4	44.44%
わかりやすい	5	55.56%
ちよつとわかりにくい		0.00%
わかりにくい		0.00%

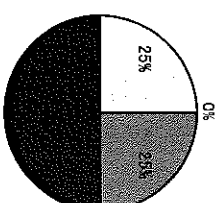
② 説明に使っている語彙について

回答内容	回答数	割合
ちようどいい	2	25.00%
難しい語彙もあるがいい	4	50.00%
ちよつと難しい	2	25.00%
難しい		0.00%

① 講師の説明について



② 説明に使っている語彙について



③ 改善点等、感想について

- ・講師の話し方がゆつくりしていて、とても分かりやすいだろうなという印象を受けた。
- ・良い例、悪い例を実演しているのが、とても分かりやすい。
- ・日本企業の面接の受け方が、とても丁寧に説明されていて良かった。(日本の企業面接がどういうものが、何が必要かを知るにはとても良いと思った)
- ・大変丁寧で的確な説明をしていた。
- ・実際の面接では、もう少し話す速度が速く、地方によっては方言も入るのではと思った。
- ・実際に面接を体験できるような構成になっているとよりよいと思う。(例えば、面接官が名前を尋ねた後に学習者が応える間があるというもの)
- ・職場の就労支援講座の模擬面接ではノックは3回と指導しています。大きな問題ではありませんが、「あれ？」と思う人がいるかもしれません。
- ・社会人としての警護を使った言葉使いに慣れないため、実際に話すとなると大変難しいと感じているようだった。
- ・一般的な文法や漢字学習を重点的にしてきたので、敬語の使い方等詳しく学習できていない。